



2026年3月期 決算説明会資料

2026年 5月15日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

■ 2026年3月期 決算概要	P 1～25
■ 2027年3月期 業績予想	P 26～30
■ 今後の経営方針とセグメント別業績の概況	P 31～49
■ ESG関連情報	P 50～51
■ 株式の状況・株主還元	P 52～56
■ 参考情報	P 57～66
■ 熱狂的ファンづくりの取り組み事例	P 67～74



2026年3月期 決算概要

※本資料中の金額は、「百万円未満切捨て」で記載しております。

業績ハイライト 2026年3月期

2026年3月期 通期業績

売上高及び各段階利益ともに過去最高

●年度前半の業績は、原材料価格高騰など製造コスト上昇により苦戦を強いられた一方、年度後半は、積極的な施策遂行により回復基調に転じた結果、売上高及び各段階利益はともに過去最高値を4期連続で更新。

●インバウンド売上高(国際線ターミナル売上高)は、日中関係悪化による影響が見られた中、対策強化によって、10,701百万円(前期比6.8%増)の続伸。

●新規出店は、昨年11月、阪神梅田本店に新ブランド「ソルトラ」及び西武池袋本店に新ブランド「バニスタ」をそれぞれ出店、また、本年2月、ジェイアール名古屋タカシマヤに新ブランド「ハローメイプリ」を出店するなど、計11店舗の出店を実施。退店では、本年1月、東京駅構内の販売エリア改装工事に伴い3店舗が閉店(内2店舗は27年3月期に再出店予定)するなど、計9店舗の退店を実施。

業績サマリー

(百万円、%)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
売上高 (対前期比)	32,191 (+38.7%)	50,155 (+55.8%)	64,035 (+27.7%)	72,349 (+13.0%)	78,781 (+8.9%)
営業利益 (対前期比)	1,402 (－)	9,951 (+609.4%)	15,780 (+58.6%)	17,610 (+11.6%)	18,598 (+5.6%)
経常利益 (対前期比)	2,921 (－)	10,295 (+252.4%)	15,867 (+54.1%)	17,686 (+11.5%)	18,733 (+5.9%)
当期純利益(注1) (対前期比)	1,915 (－)	7,018 (+266.4%)	10,831 (+54.3%)	12,122 (+11.9%)	12,557 (+3.6%)
売上高経常利益率(%)	9.1	20.5	24.8	24.4	23.8
EPS (円) (注2)	12.31	45.10	69.61	78.00	81.32
BPS (円) (注2)	130.83	170.43	226.38	259.67	310.37
ROE (%)	9.7	29.9	35.1	32.2	28.5

(注1) 当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益(他の資料箇所も同様)

(注2) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。

EPS及びBPS数値につきましては、2022年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算出しています。

トピックス① シュクレイグループが新ブランドによる好立地出店を積極展開

新ブランド「SALTRA(ソルトラ)」を阪神梅田本店にオープンしました。



2025年11月12日 OPEN
【シュクレイ】新ブランド「SALTRA(ソルトラ)阪神梅田本店」

新ブランド「VANISTA(バニスタ)」を西武池袋本店に当社グループとして初めて常設店をオープンしました。



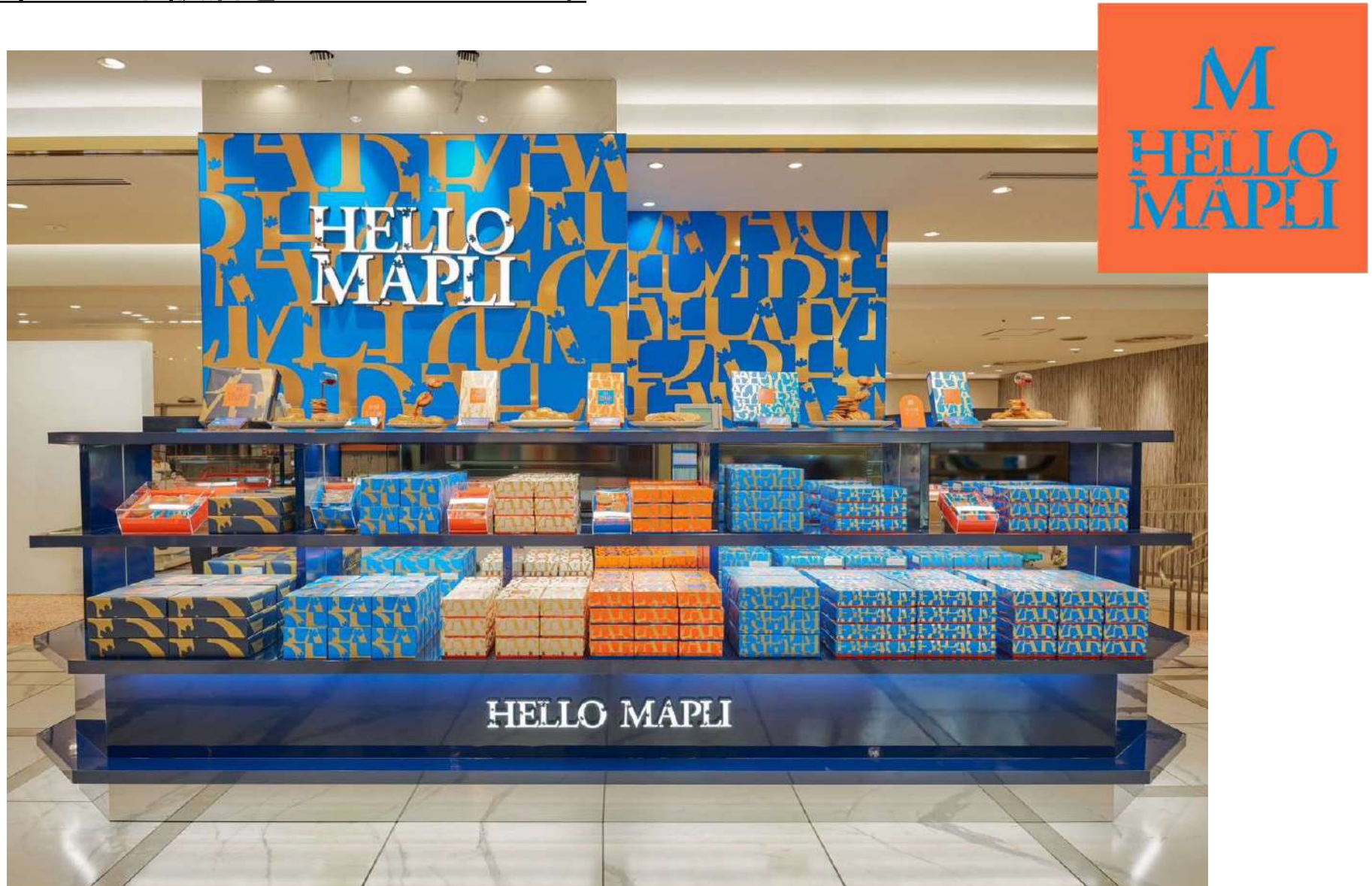
2025年11月21日 OPEN
【シュクレイ】新ブランド「VANISTA(バニスタ)西武池袋本店」

新ブランド「博ったらし」をJR博多駅構内の商業施設マイングにオープンしました。



2025年12月10日 OPEN
新ブランド「博ったらし マイニング店」

新ブランド「HELLO MAPLI(ハローメイプリ)」をJR名古屋タカシマヤに当社グループとして初めて常設店をオープンしました。



2026年2月18日 OPEN

【九十九島グループ】新ブランド「HELLO MAPLI(ハローメイプリ)ジェイアール名古屋タカシマヤ店」

新ブランド「Shu Shu(シュシュ)」をそごう横浜店にオープンしました。



2026年3月28日 OPEN
【シュクレイ】新ブランド「Shu Shu(シュシュ)そごう横浜店」

トピックス② 主カブランドのリブランディング

シュクレイグループの主カブランド「東京ミルクチーズ工場」がリブランディング後、初となるフラッグシップ店舗を2025年9月12日に開業した「NEWoMan高輪」にオープンしました。



2025年9月12日 OPEN
【シュクレイ】「東京ミルクチーズ工場 ニュウマン高輪店」オープン

トピックス③ 寿製菓グループの沖縄展開

沖縄の販路拡大へ向けて、主要代理店へのOEMや自社ブランド「パイナップルスイーツ専門店newQ(ニューキュー)」などの積極展開を推進。



「newQ(ニューキュー)国際通り店」



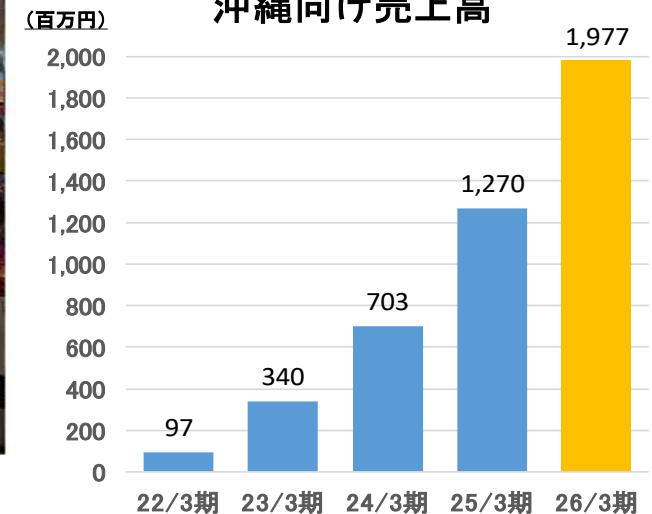
雪塩さんど 国際通り店



国際通り小売店内の売場



那覇空港売店



更なる沖縄展開の強化に向けて、沖縄県宮古島に新工場を設置、2027年6月の稼働開始に向けて準備中。設備投資額は29億円。

**【施設概要】**

敷地面積：8910平方メートル
工場面積：約3000平方メートル

【今後のスケジュール(予定)】

2027年2月：建物完成
2027年6月：工場稼働開始

【生産能力】

売上50億円規模

【生産品目】

サンドクッキー
フィナンシェ
タルト他



トピックス④ インバウンド売上高(国際線ターミナル売上高)

2026年3月期のインバウンド売上は、前期比6.8%増収

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2026年3月期	2,646	2,436	2,930	2,687	10,701
2025年3月期	2,305	2,338	2,765	2,613	10,022
2024年3月期	1,519	1,606	1,966	2,033	7,126

2025年11月18日にオープンした福岡空港国際線ターミナル免税店(お菓子・食品エリア)に対して、グループが総力を挙げて売場を獲得。



2026年3月期 業績(対前期)

売上高は、前期比8.9%増収、経常利益は同5.9%増益

	25年3月期(通期)		26年3月期(通期)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
(百万円、%)						
売上高	72,349	—	78,781	—	6,431	8.9
売上総利益	44,804	61.9	48,388	61.4	3,583	8.0
販売管理費	27,193	37.6	29,789	37.8	2,596	9.5
営業利益	17,610	24.3	18,598	23.6	987	5.6
経常利益	17,686	24.4	18,733	23.8	1,046	5.9
当期純利益	12,122	16.8	12,557	15.9	434	3.6
EPS(円)	78.00		81.32		3.32	
ROE(%)	32.2		28.5		△ 3.7	

公表数字に対する達成率

売上高達成率98.9%、経常利益同95.0%

(百万円、%)	期初予想※		26年3月期(通期)		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	79,670	—	78,781	—	△ 888	98.9
売上総利益	49,600	62.3	48,388	61.4	△ 1,211	97.6
販売管理費	29,950	37.6	29,789	37.8	△ 160	99.5
営業利益	19,650	24.7	18,598	23.6	△ 1,051	94.6
経常利益	19,720	24.8	18,733	23.8	△ 986	95.0
当期純利益	13,400	16.8	12,557	15.9	△ 842	93.7

※ 期初予想は、2025年5月13日付公表数字

売上高(販売チャネル別)

国内卸売は、寿製菓グループの貢献などにより11.8%増収

(百万円、%)	25年3月期(通期)		26年3月期(通期)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	72,349	—	78,781	—	6,431	8.9
国内卸売	29,900	41.3	33,423	42.4	3,523	11.8
国内小売	34,940	48.3	37,443	47.5	2,503	7.2
通信販売	6,127	8.5	6,378	8.1	250	4.1
その他	10	0.0	13	0.0	2	—
国内計	70,979	98.1	77,258	98.1	6,279	8.8
海外卸売	759	1.1	935	1.2	175	23.2
海外小売	610	0.8	586	0.7	△ 23	△ 3.9
海外計	1,370	1.9	1,522	1.9	152	11.1

(注) 国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど/ 国内小売は、主に直営店舗、催事など
 海外卸売は、海外FCに対する国内出荷売上＋ロイヤルティ/ 海外小売は、台湾子会社の売上/その他は損害保険代理業

補足(海外売上の内訳)

【海外売上高】

(百万円、%)	25年3月期 (通期)	26年3月期 (通期)	増減額	増減率
台湾(注1)	610	591	△ 18	△ 3.0
シンガポール	286	323	37	13.0
オーストラリア	258	307	49	19.1
その他	213	299	86	40.3
合計	1,370	1,522	152	11.1

(注1) 台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。台湾は現地売上、FCは国内出荷売上＋ロイヤルティ



(シンガポール)

LeTAO Le chocolat Singapore
Wisma Atria B1-58 (435 Orchard Road)

2025年8月1日 オープン



売上原価・売上総利益

材料費比率は、前期比0.4ポイント増加

(百万円、%)	25年3月期(通期)		26年3月期(通期)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	72,349	—	78,781	—	6,431	8.9
材料費	16,300	22.5	18,033	22.9	1,732	10.6
労務費	5,730	7.9	5,884	7.5	154	2.7
製造経費	3,353	4.6	3,550	4.5	196	5.9
製造原価計	25,385	35.1	27,468	34.9	2,083	8.2
その他	2,159	3.0	2,924	3.7	764	35.4
売上原価	27,544	38.1	30,393	38.6	2,848	10.3
売上総利益	44,804	61.9	48,388	61.4	3,583	8.0

販売管理費・営業利益

販売管理費比率は、前期比0.2ポイント増加

(百万円、%)	25年3月期(通期)		26年3月期(通期)		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	44,804	61.9	48,388	61.4	3,583	8.0
人件費	9,892	13.7	10,422	13.2	529	5.4
販売促進費(注1)	4,251	5.9	5,143	6.5	891	21.0
運賃	2,357	3.3	2,539	3.2	182	7.7
広告宣伝費	468	0.6	600	0.8	131	28.1
地代家賃及び 支払手数料	7,199	10.0	7,710	9.8	511	7.1
減価償却費	460	0.6	549	0.7	88	19.2
旅費交通費	532	0.7	532	0.7	0	0.0
その他	2,030	2.8	2,290	2.9	260	12.8
販売管理費	27,193	37.6	29,789	37.8	2,596	9.5
営業利益	17,610	24.3	18,598	23.6	987	5.6

(注1) 販売促進費の増加は、新規出店及びブランドリニューアルの増加、国際線ターミナルでのインバウンド向け販促強化に伴う派遣費用の増加などによるもの

セグメント別の業績(対前期)

寿製菓グループは、沖縄展開好調などにより増収増益

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	25年3月期(通期)	26年3月期(通期)	増減額	増減率	25年3月期(通期)	26年3月期(通期)	増減額
シュクレイグループ (注1)	34,698	37,054	2,356	6.8	6,797	7,087	289
ケイシイシイ	21,482	23,184	1,701	7.9	5,024	4,833	△ 190
寿製菓グループ(注1)	14,545	16,298	1,752	12.1	3,240	3,823	582
販売子会社	7,227	7,804	576	8.0	946	1,089	143
その他 (注2)	692	674	△ 18	△ 2.6	55	28	△ 26
セグメント計	78,647	85,016	6,369	8.1	16,064	16,862	798
調整額	△ 6,297	△ 6,235	62	△ 1.0	1,546	1,735	188
合計	72,349	78,781	6,431	8.9	17,610	18,598	987

(注1) 従来「シュクレイ」及び「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編(会社分割)に伴い、当期より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更しており、前期との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を当期より「寿製菓グループ」に変更しております。

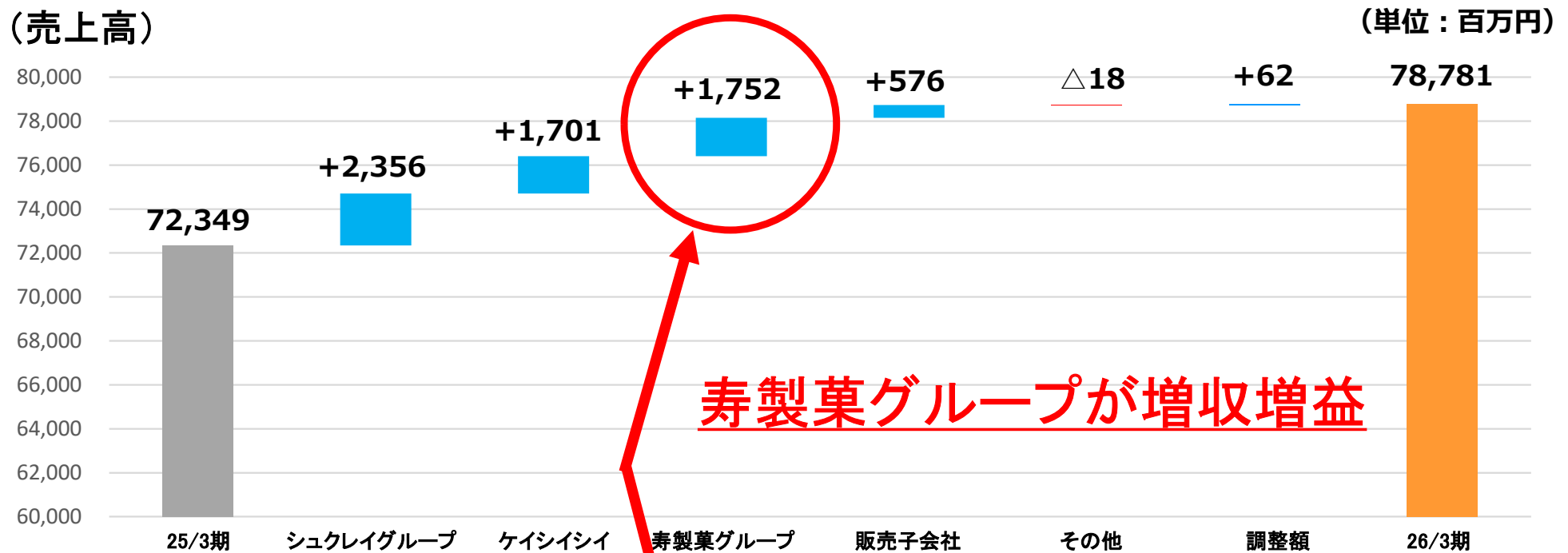
(注2) 「その他」には、損害保険代理事業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

セグメント別業績の補足説明

<p>シュクレイ グループ</p>	<p>シュクレイグループは、各ブランドにおいて主力商品を軸に季節限定商品などの新商品を加え、ブランド訴求力の向上に取り組みました。インバウンド対策では、国際線ターミナルを中心に販売人員の増強や「抹茶ちとせ」商品の拡販などに注力いたしました。新規出店では、昨年9月、ニューマン高輪にリブランドを行った「東京ミルクチーズ工場」が初のフラッグシップ店舗を出店、加えて新ブランドでは、百貨店を中心に展開し、昨年11月、阪神梅田本店に「ソルトラ」及び西武池袋本店に「バニスタ」をそれぞれ出店、更に、本年2月、ジェイアール名古屋タカシマヤに「ハローメイプリ」の出店など、計10店舗の出店を行いました。退店では、本年1月、東京駅構内の販売エリア改装工事に伴い3店舗の退店（内2店舗は次期に出店予定）など、計7店舗の退店を行いました。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、更なるブランド価値の増大に向け、昨年3月にグランドオープンした「ルタオ運河プラザ店」の販売強化や「ルタオ新千歳空港店」及び「ルタオ札幌大丸店」の全面リニューアルを行い、また、新紅茶カテゴリー「&LeTAO」の発売や新作限定スイーツを順次投入するなど、新商品開発を推進いたしました。インバウンド対策では、国際線ターミナルを中心に販売人員の増強や新ブランド「岡田謹製茶織屋」による催事展開などに注力いたしました。通信販売では季節イベント対策を推進し、また、昨年6月、「ルタオ」のポイント制度のリニューアルを行い、店舗とオンラインショップとの相互連携を図りました。「ナウオンチーズ」などの首都圏ブランドでは、ブランド認知度を高めるため、催事展開に注力いたしました。</p>
<p>寿製菓グループ</p>	<p>寿製菓グループは、新商品開発に注力し、主要代理店及び販売子会社への提案営業を推進いたしました。販路拡大では、沖縄において、主要代理店とタイアップしたOEM展開の推進や直営ブランドのパイナップルスイーツ専門店「ニューキュー」の展開強化などに取り組みました。地元の山陰地区では、昨年8月にJR鳥取駅の商業ゾーンのリニューアルにあわせ、セレクトショップ「鳥取 菓の座」をリニューアルオープンいたしました。また、主力商品「因幡の白うさぎ」において、本年3月にギネス世界記録挑戦イベントを開催するなど、更なる認知度向上に努めました。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>販売子会社は、各販売拠点において主力商品対策及び地域特性にマッチした新商品の発売、インバウンド対策などに注力いたしました。エリア別では、東海地区は、季節限定新商品「伊勢奉祝水まんじゅう」及び「伊勢奉祝ぜんざいもち」の発売、関西地区は、主力商品「大阪はちみつクワトロフォルマッジ」の販売強化などに取り組みました。福岡地区では、10周年を迎えた「博多まっかな苺」ブランドの展開強化に注力しました。</p>

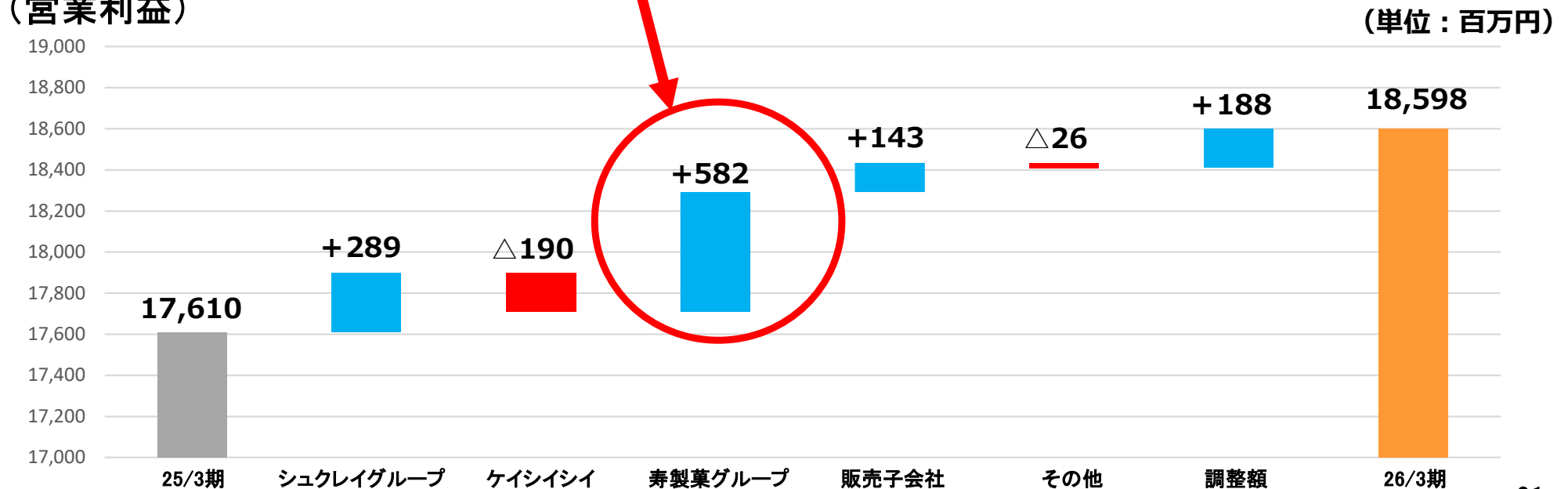
売上高／営業利益増減分析(対前期)

(売上高)



寿製菓グループが増収増益

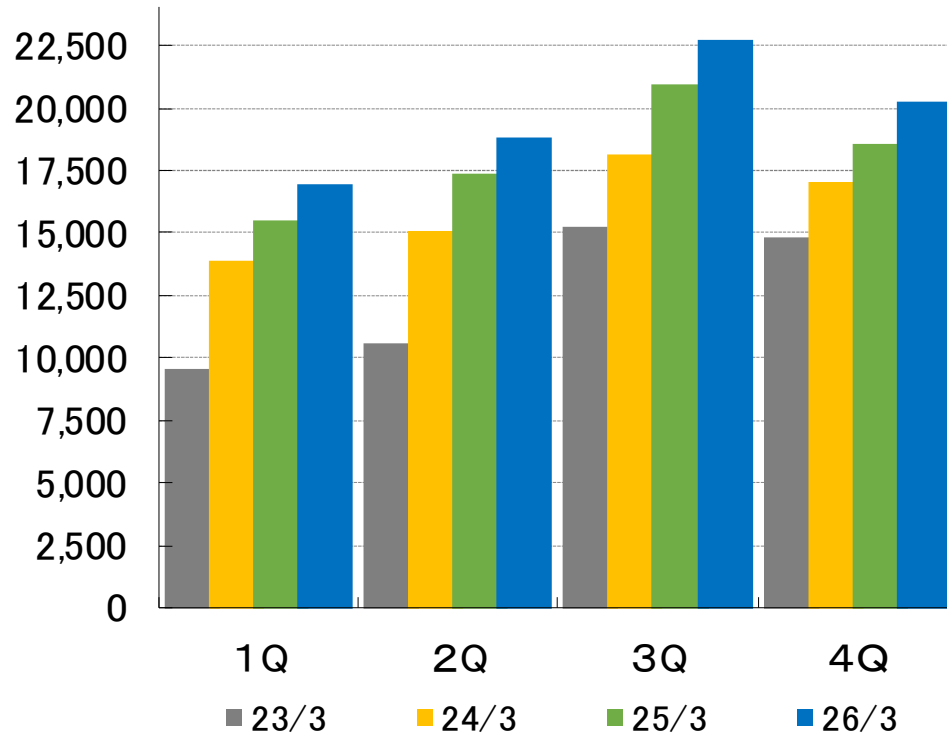
(営業利益)



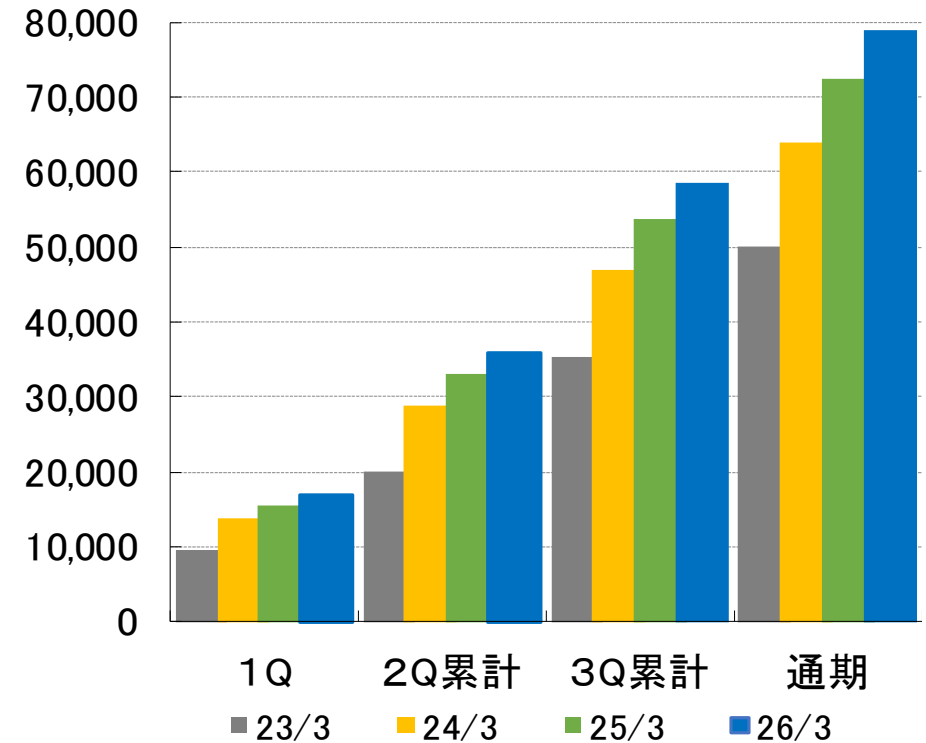
四半期業績の推移(売上高)

(4Q会計)対前年同期比9.5%増

(百万円) 会計期間売上高の4期間比較



(百万円) 累計期間売上高の4期間比較

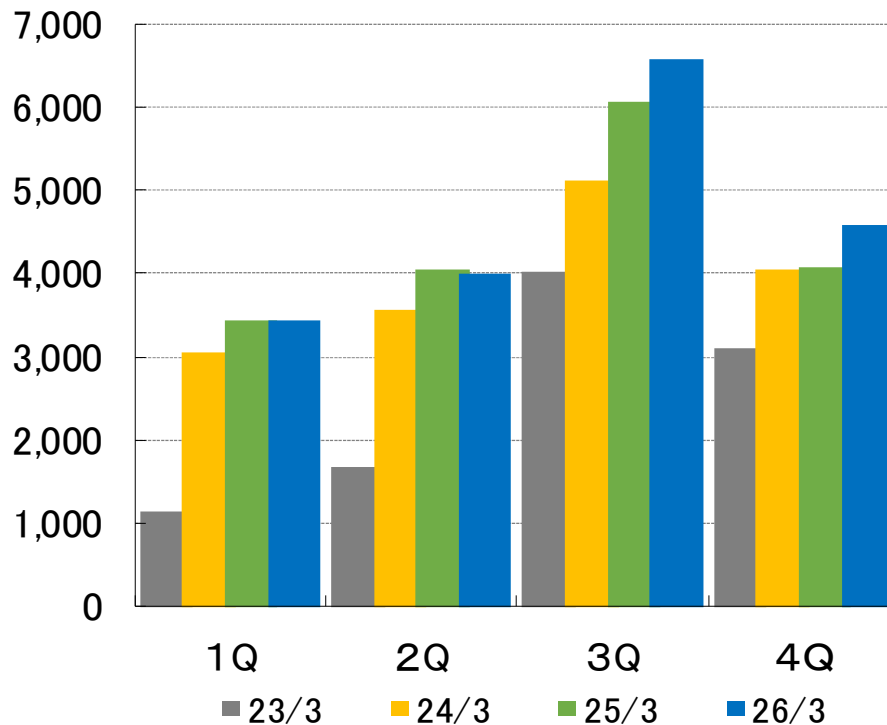


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
23/3	9,515	10,584	15,270	14,785	9,515	20,099	35,370	50,155
24/3	13,853	15,037	18,144	16,999	13,853	28,891	47,036	64,035
25/3	15,526	17,379	20,901	18,541	15,526	32,906	53,807	72,349
26/3	16,976	18,811	22,697	20,295	16,976	35,787	58,485	78,781
対前年	109.3%	108.2%	108.6%	109.5%	109.3%	108.8%	108.7%	108.9%

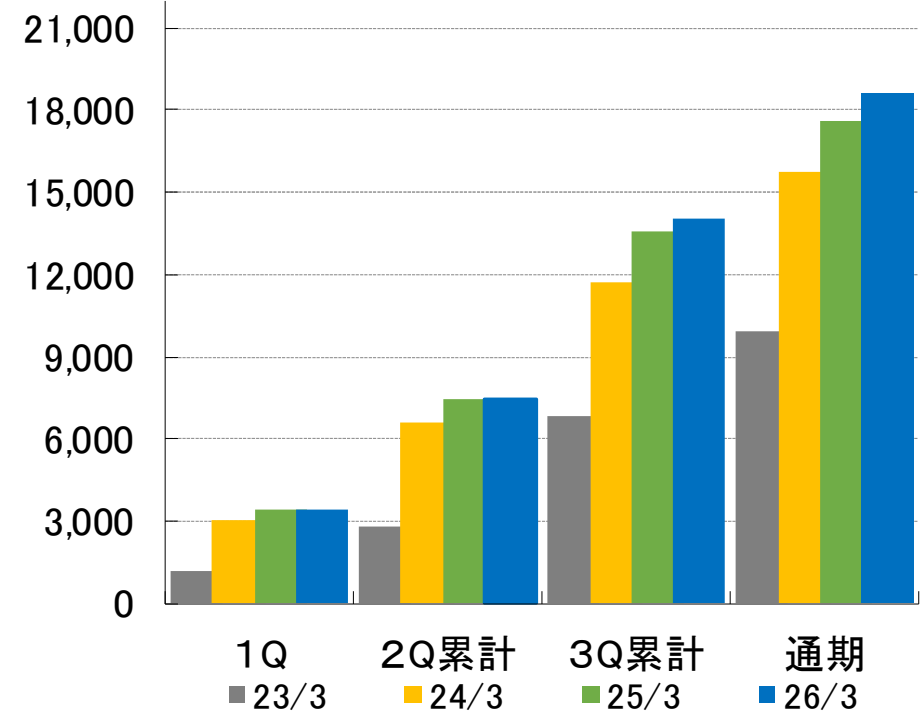
四半期業績の推移(営業利益)

(4Q会計)対前年同期比12.8%増

(百万円) 会計期間営業利益の4期間比較



(百万円) 累計期間営業利益の4期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
23/3	1,150	1,679	4,026	3,095	1,150	2,830	6,856	9,951
24/3	3,058	3,563	5,111	4,046	3,058	6,622	11,734	15,780
25/3	3,428	4,048	6,069	4,065	3,428	7,476	13,545	17,610
26/3	3,439	4,001	6,570	4,586	3,439	7,441	14,011	18,598
対前年	100.3%	98.8%	108.3%	112.8%	100.3%	99.5%	103.4%	105.6%

貸借対照表

流動資産の増加は、主に現預金の増加によるもの

(百万円、%)	24年3月期(通期)		25年3月期(通期)		26年3月期(通期)		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	34,408	74.0	37,649	72.4	44,775	74.4	7,126	18.9
固定資産	12,102	26.0	14,331	27.6	15,367	25.6	1,036	7.2
資産合計	46,510	100.0	51,980	100.0	60,142	100.0	8,162	15.7
流動負債	8,824	19.0	9,735	18.7	10,102	16.8	367	3.8
固定負債	2,462	5.3	2,158	4.2	2,103	3.5	△ 55	△ 2.6
負債合計	11,287	24.3	11,894	22.9	12,206	20.3	311	2.6
純資産	35,223	75.7	40,085	77.1	47,936	79.7	7,850	19.6
負債純資産合計	46,510	100.0	51,980	100.0	60,142	100.0	8,162	15.7
BPS(円)	226.38		259.67		310.37		50.70	19.5
設備投資額	1,926		3,357		2,570(注1)		—	—
減価償却費	1,164		1,462		1,691		—	—

(注1)2026年3月期(通期)の設備投資額には、宮古島新工場の生産設備契約手付金等4.9億円を含む

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ期末残高は、対前期比3,119百万円増加の28,200百万円

(百万円、%)	24年3月期	25年3月期	26年3月期	対前期	
	通期	通期	通期	増減額	増減率
営業活動CF	10,845	13,204	13,801	597	4.5
投資活動CF	△ 2,004	△ 3,438	△ 5,451	△ 2,013	58.5
フリーCF	8,840	9,766	8,350	△ 1,416	△ 14.5
財務活動CF	△ 2,322	△ 7,372	△ 5,241	2,131	△ 28.9
cashに係る換算差額	9	△ 5	10	15	—
cash増減	6,527	2,388	3,119	731	30.6
cash期首	16,162	22,689	25,081	2,392	10.5
連結範囲の変更に伴う増減額	—	3	—	—	—
cash期末	22,689	25,081	28,200	3,119	12.4



2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想の補足説明

●連結範囲の変更等

本年4月、ケイシイシイの100%子会社「株式会社箱根ときのみ」を設立。旧箱根芦之湯フラワーセンターをイノベーションし、本年7月を目途に新ブランドオープン予定。また、「ケイシイシイ」としていた報告セグメントの名称を「ケイシイシイグループ」に変更。

●出退店等

27/3期の出退店は、ルミネ大宮(4月出店済み)、那覇空港、大丸福岡天神、新宿伊勢丹、東京駅、箱根(路面店)など計7店舗の出店及び1店舗の退店を予定。

●インバウンド売上 (国際線ターミナル売上)

日中関係悪化による影響は当面続く想定のもと、主要国際線ターミナルでの対策強化を図り、前年比7.5%増の115億円を予定。

●設備投資等

設備投資計画は、工場設備の更新、取得をメインに40億円(内、宮古島新工場の投資額は15億円)。なお、沖縄県宮古島市の新工場は27年6月稼働予定で、総投資予定額は29億円。

2027年3月期 業績予想(対前期)

売上高 前期比7.3%増、営業利益 同10.5%増

	26年3月期		27年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
(百万円、%)						
売上高	78,781	—	84,500	—	5,718	7.3
売上総利益	48,388	61.4	52,520	62.2	4,131	8.5
販売管理費	29,789	37.8	31,970	37.8	2,180	7.3
営業利益	18,598	23.6	20,550	24.3	1,951	10.5
経常利益	18,733	23.8	20,610	24.4	1,876	10.0
当期純利益(注)	12,557	15.9	13,810	16.3	1,252	10.0
EPS(円)	81.32		89.42		8.10	10.0
1株当たり配当金(円)	35.00		35.00		—	—
設備投資	2,570		4,000		1,429	55.6
減価償却費	1,691		1,750		58	3.5

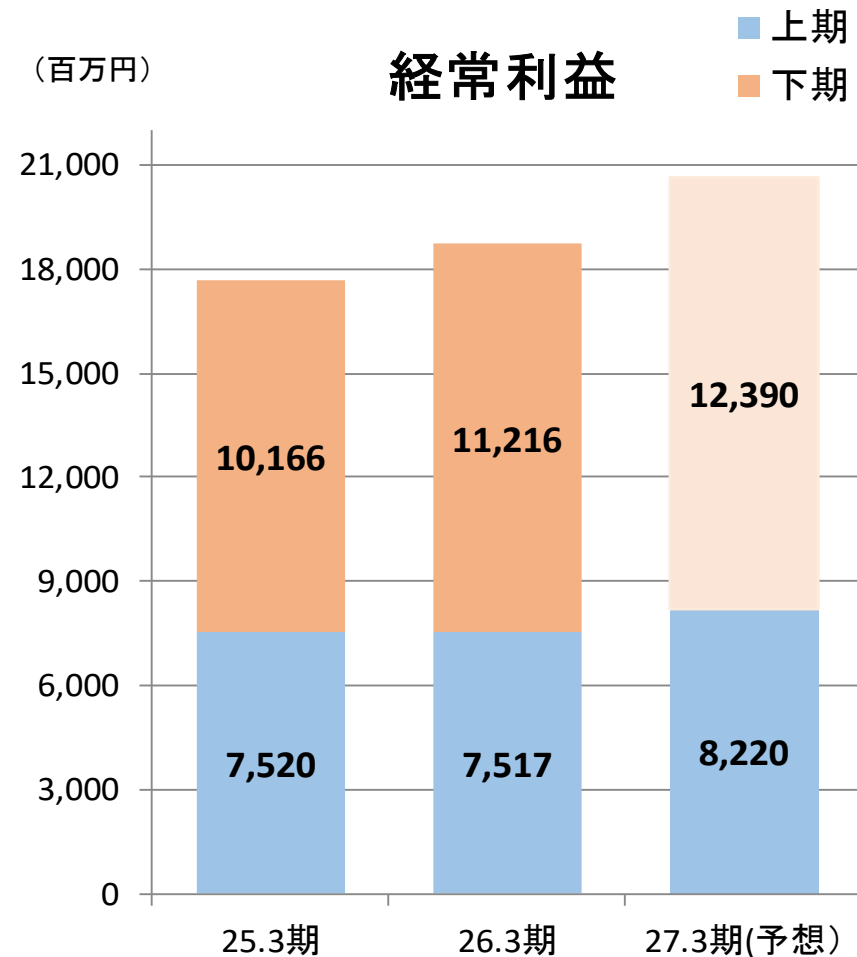
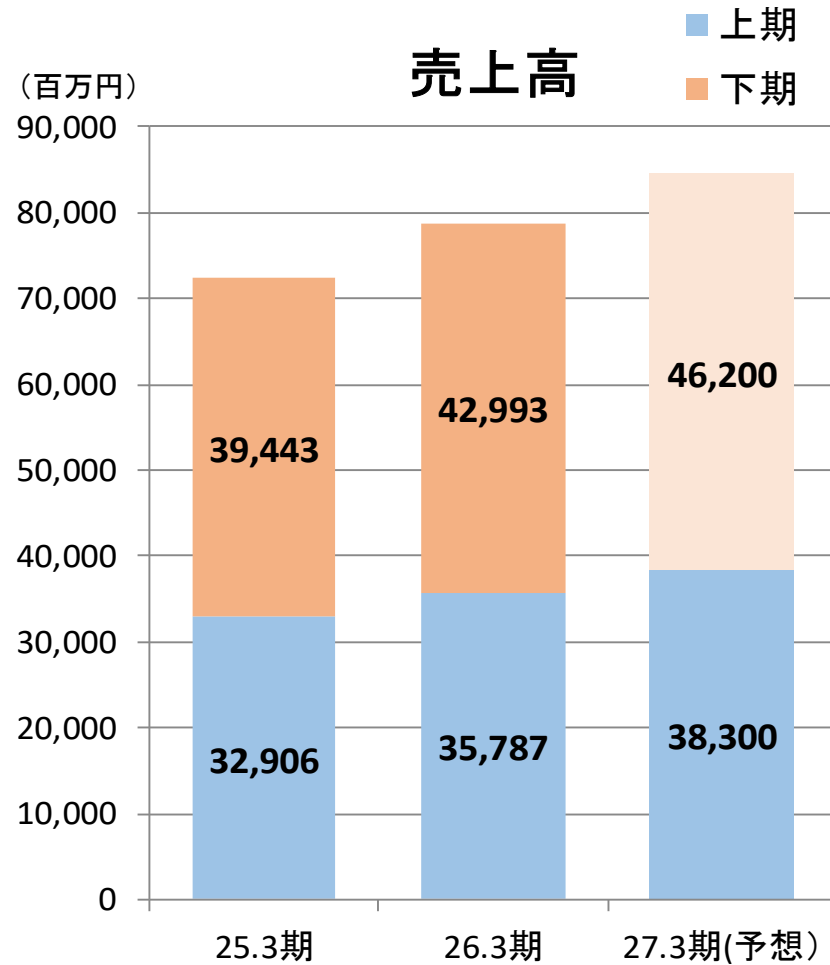
(注) 当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

2027年3月期 業績予想(セグメント別)

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	26/3期	27/3期予	増減額	増減率	26/3期	27/3期予	増減額
シュクレイグループ	37,054	39,700	2,645	7.1	7,087	7,760	672
ケイシイシイグループ ^(注)	23,184	24,800	1,615	7.0	4,833	5,350	516
寿製菓グループ	16,298	17,550	1,251	7.7	3,823	4,267	443
販売子会社	7,804	8,310	505	6.5	1,089	1,198	108
その他	674	700	25	3.8	28	28	△0
セグメント計	85,016	91,060	6,043	7.1	16,862	18,603	1,740
調整額	△ 6,235	△ 6,560	△ 324	5.2	1,735	1,947	211
合計	78,781	84,500	5,718	7.3	18,598	20,550	1,951

(注) ケイシイシイは、2026年4月1日付で株式会社箱根ときのみを100%出資により設立したことに伴い、セグメント名称を「ケイシイシイグループ」に変更いたしました。

2027年3月期 業績予想(上期・下期比較)



	売上高						経常利益					
	25/3期	構成比	26/3期	構成比	27/3期(予)	構成比	25/3期	構成比	26/3期	構成比	27/3期(予)	構成比
上期	32,906	45.5%	35,787	45.4%	38,300	45.3%	7,520	42.5%	7,517	40.1%	8,220	39.9%
下期	39,443	54.5%	42,993	54.6%	46,200	54.7%	10,166	57.5%	11,216	59.9%	12,390	60.1%
通期	72,349	100.0%	78,781	100.0%	84,500	100.0%	17,686	100.0%	18,733	100.0%	20,610	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

当社グループの経営理念は、創業者であります故河越庄市をはじめ、諸先輩方が幾多の試練を乗り越えてこられた中、生まれました。利潤の追求のみが企業の目的ではなく、会社が未来永劫発展し続けるためには、常に「人様に喜んでいただく」ことを最優先に考え、お客様に喜んでいただける商品を創り、お客様に喜ばれるサービスを提供し続け、地域社会への貢献、共存・共栄こそが、会社の存在意義であり、当社グループに与えられた使命であります。

基本ポリシー

今日一人熱狂的ファンを創る

当社グループの全従業員は、経営理念の具現化に向け、ひとつのお菓子、ひとりのお客様への接客で、一生お付き合いができる熱狂的なファンを今日一人創ることに徹する「熱狂的ファン創り」を基本ポリシーとしております。

《経営理念手帳「こづち」について》

当社グループは、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、全従業員の経営理念浸透と企業倫理の徹底に努めております。

経営理念手帳「こづち」は、各職場単位で行う朝礼や研修、勉強会などで活用し、また、経営理念の実践の成果を全従業員が共有し、さらなる大きな成果を生み出していくことを目的に「こづち発表全国大会」を年1回開催しております。



2026年1月「こづち発表全国大会」を開催

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のプレミアムギフトスイーツブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

当社グループは、「お菓子の総合プロデューサー」として、「高い価値の創造」をテーマに、美味しさと地域性を追求した「プレミアムギフトスイーツ」の創造と育成を推進し、地域社会への貢献・共存・共栄を図り、社会から信頼され必要とされる企業集団を目指してまいります。



寿スピリッツグループ2026年経営スローガン

今日一人熱狂的ファンを創る

これは私たち全員の日々の仕事であり、経営の目的であり、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の実践項目です。昨日より今日、今日より明日、日々シンカし続ける考動が、一つのお菓子で、また一度の接客を通じて、一生続く熱狂的なファンを創る。



中長期の経営目標（Value Up Vision 2030）

●成長ストーリー

経営理念をベースとした

「**全員参画による超現場主義経営**」の更なる推進

当社グループは、経営理念を拠り所に、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「全員参画による超現場主義経営」の徹底実践により人的資本経営を推進。活力ある魅力あふれる企業集団を創造し、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。



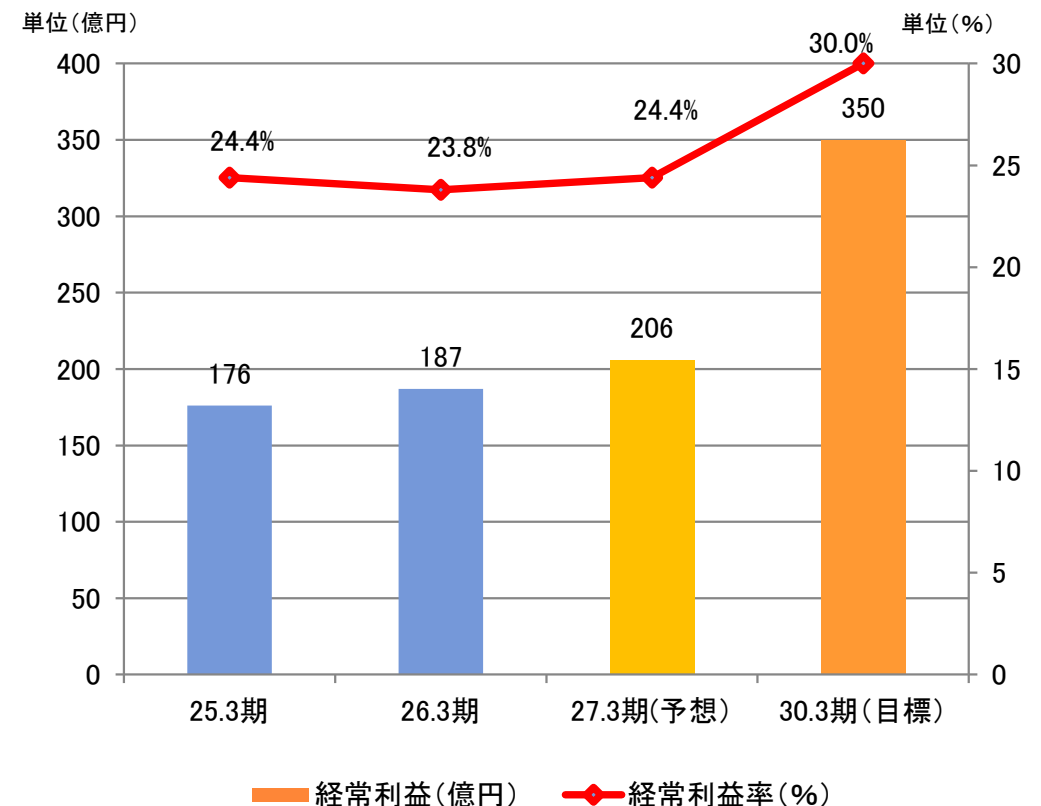
中長期の経営目標 (Value Up Vision 2030)

●重点対策

- ・商品力、売場力、販売力のValue Up
- ・インバウンド対策のValue Up
- ・人財力のValue Up

●目標指標

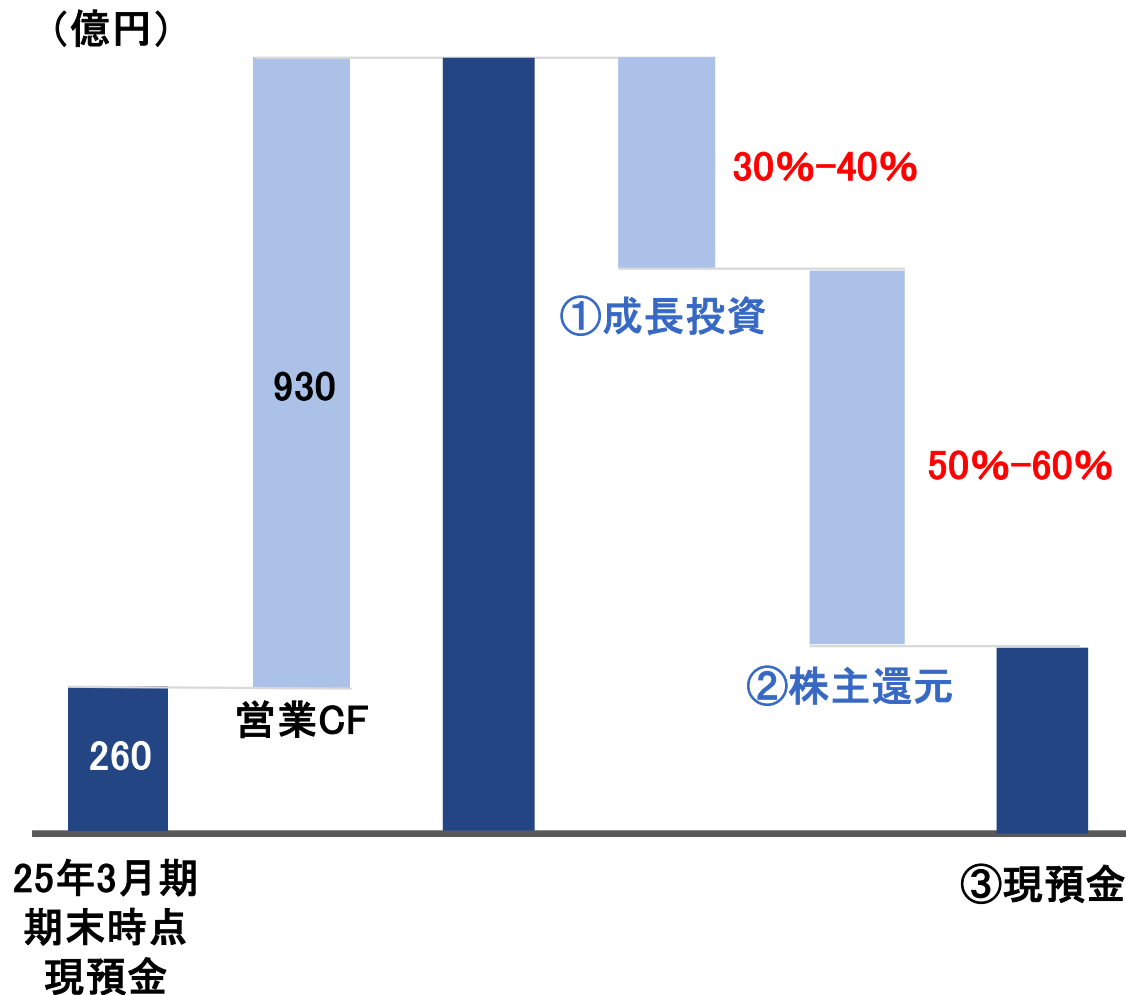
- ・経常利益率 30% (2030年3月期)
- ・経常利益 350億円 (2030年3月期)
- ・5カ年の平均売上成長率 10%
- ・ROE30%以上



●キャッシュアロケーション方針

(26年3月期から30年3月期の5年間)

創出するキャッシュを更なる成長投資・株主還元投入到し、更なる収益性の向上により高ROE経営を推進。中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。



①成長投資

工場投資(既存工場の維持、更新含む)、出店投資やM&A等による新たな成長投資

②株主還元

総還元性向50%以上を意識し、利益成長に応じた増配と機動的な自己株式取得を実施

③現預金

売上の30%程度を目安に手元流動性を確保

セグメント別概況



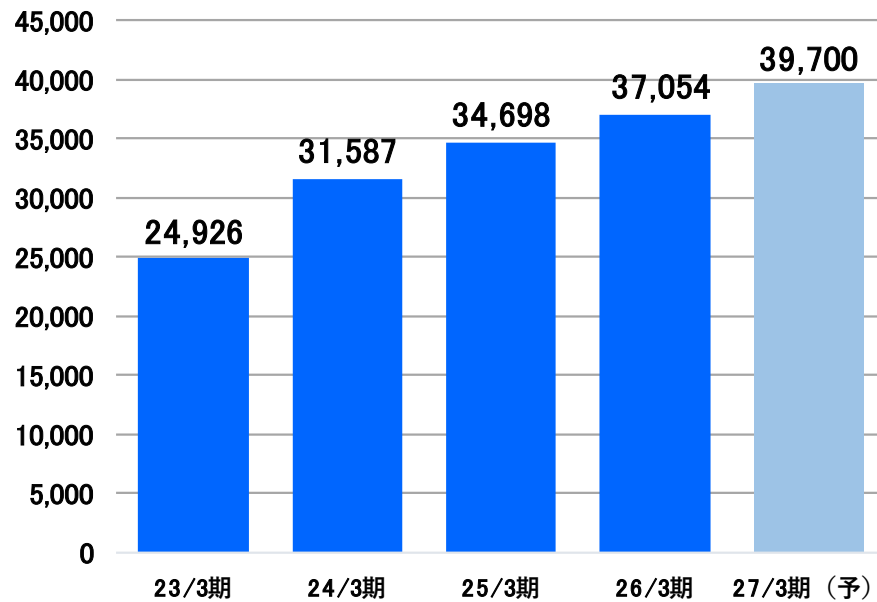
- シュクレイグループ
(シュクレイ/九十九島グループ)
- ケイシイシイグループ
(ケイシイシイ/箱根ときのみ)
- 寿製菓グループ
(寿製菓/但馬寿/ケーエムエフ)
- 販売子会社
- その他

《シュクレイグループ》

27/3期予想: 売上高 **39,700** 百万円 (前期比 **+7.1%**) 営業利益 **7,760** 百万円 (同 **+9.5%**)

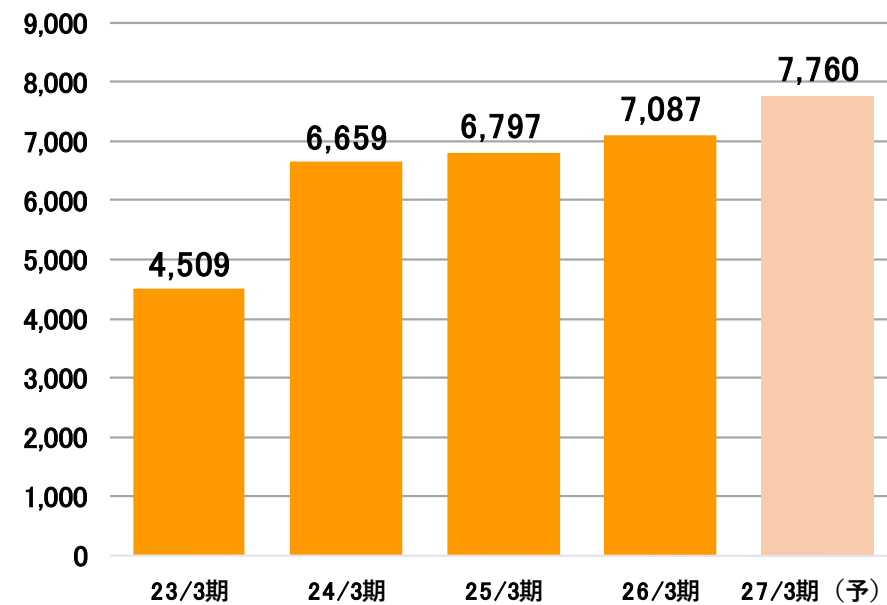
(百万円)

売上高



(百万円)

営業利益



(百万円, %)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	対前期		27/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	24,926	31,587	34,698	37,054	2,356	6.8	39,700	2,645	7.1
売上総利益	15,587	20,424	22,286	23,918	1,631	7.3	25,950	2,031	8.5
粗利率	62.5	64.7	64.2	64.5	0.3	-	65.4	0.8	-
販売管理費	11,077	13,765	15,489	16,830	1,341	8.7	18,190	1,359	8.1
営業利益	4,509	6,659	6,797	7,087	289	4.3	7,760	672	9.5

《シュクレイグループ》

現場力の更なる強化により、主カブランドを中心にブランド価値の向上と、新ブランドによる好立地出店などにより成長を加速する。



東京ミルクチーズ工場



バターバトラー（バターと抹茶のフィナンシェ）



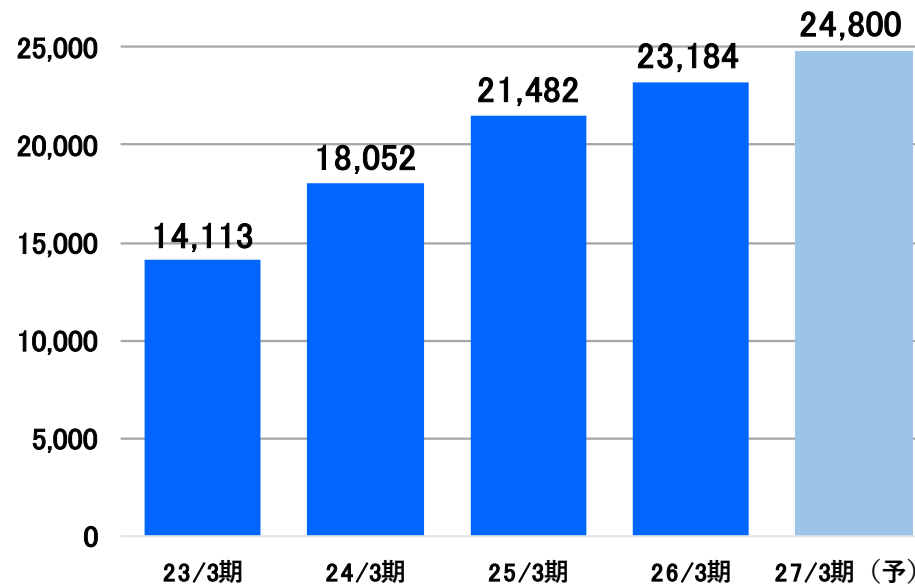
東京ミルクチーズ工場（ストロベリー＆マスカルポーネクッキー）

《ケイシイシイグループ》

27/3期予想:売上高 **24,800**百万円(前期比**+7.0%**)営業利益 **5,350**百万円(同**+10.7%**)

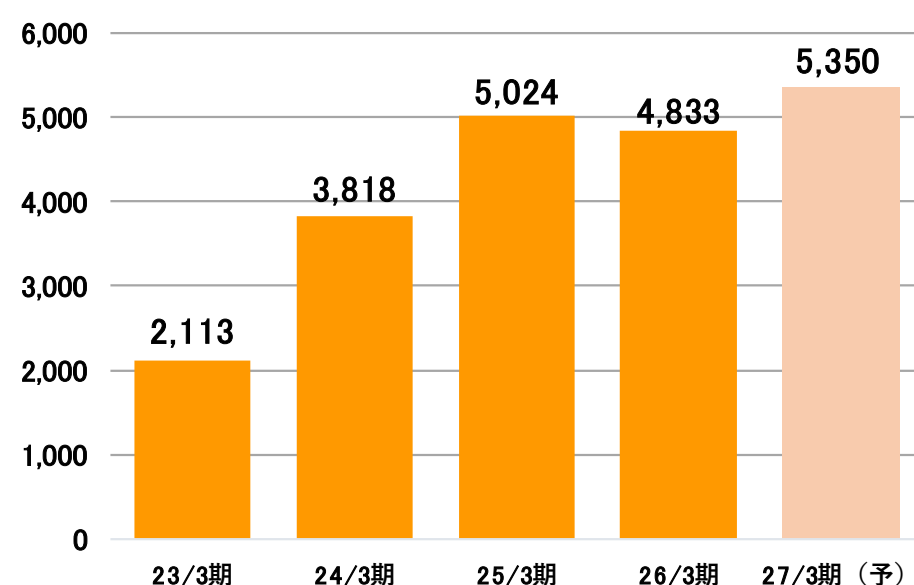
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



(百万円,%)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	対前期		27/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	14,113	18,052	21,482	23,184	1,701	7.9	24,800	1,615	7.0
売上総利益	8,149	10,938	13,378	14,117	738	5.5	15,330	1,212	8.6
粗利率	57.7	60.6	62.3	60.9	△ 1.4	-	61.8	0.9	-
販売管理費	6,035	7,120	8,354	9,283	928	11.1	9,980	696	7.5
営業利益	2,113	3,818	5,024	4,833	△ 190	△ 3.8	5,350	516	10.7

(注) ケイシイシイは、2026年4月1日付で株式会社箱根ときのみを100%出資により設立したことに伴い、セグメント名称を「ケイシイシイグループ」に変更いたしました。

《ケイシイシイグループ》



30周年を迎えたケイシイシイは、小樽洋菓子舗LeTAO
の更なるブランド価値の向上と、「ピスタ&トーキョー」、「ナウオンチーズ♪」
「岡田謹製あんバター屋」「カナリナ」、などの首都圏ブランドの育成に注力



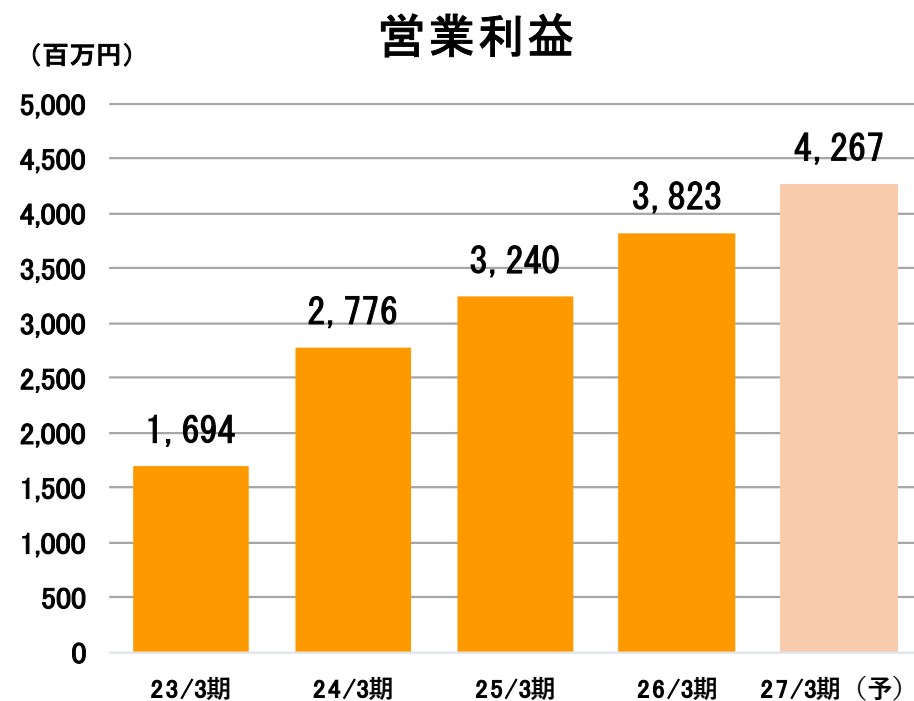
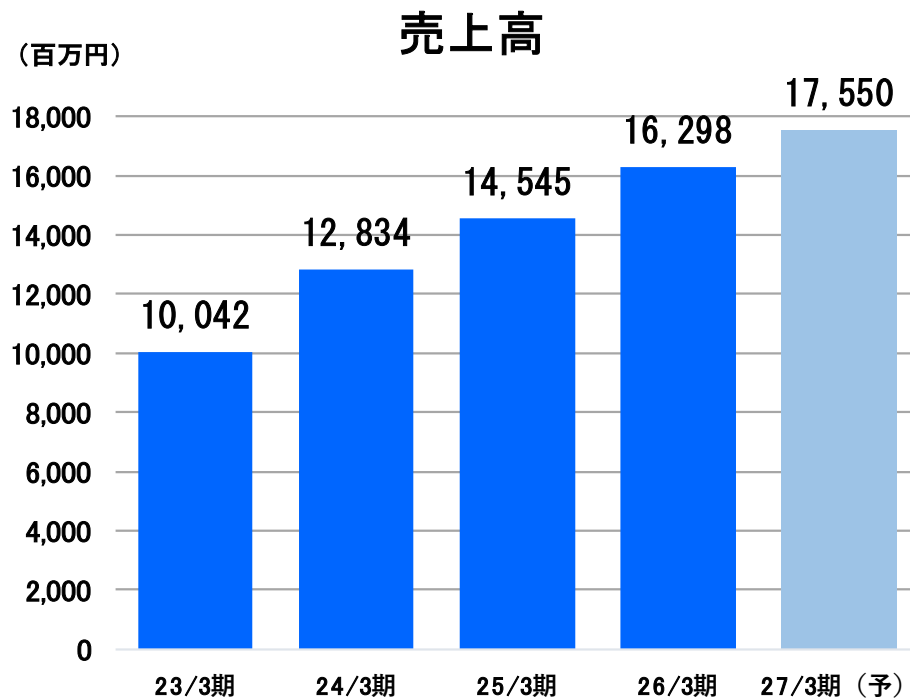
岡田謹製茶織屋(メロンパン抹茶づくし)



小樽洋菓子舗ルタオ(ル モンド デュフロマージュ)

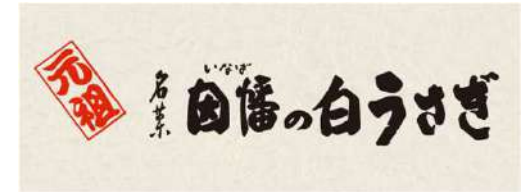
《寿製菓グループ》

27/3期予想: 売上高 **17,550**百万円(前期比**+7.7%**) 営業利益 **4,267**百万円(前期比**+11.6%**)



(百万円, %)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	対前期		27/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,042	12,834	14,545	16,298	1,752	12.1	17,550	1,251	7.7
売上総利益	3,952	5,355	6,104	6,954	849	13.9	7,647	692	10.0
粗利率	39.4	41.7	42.0	42.7	0.7	-	43.6	0.9	-
販売管理費	2,258	2,578	2,863	3,131	267	9.4	3,380	248	8.0
営業利益	1,694	2,776	3,240	3,823	582	18.0	4,267	443	11.6

《寿製菓グループ》



主力商品の育成及び新商品開発の推進、代理店との連携強化、2027年春に稼働予定の宮古島工場の設置により沖縄展開を加速、更なる成長を目指す



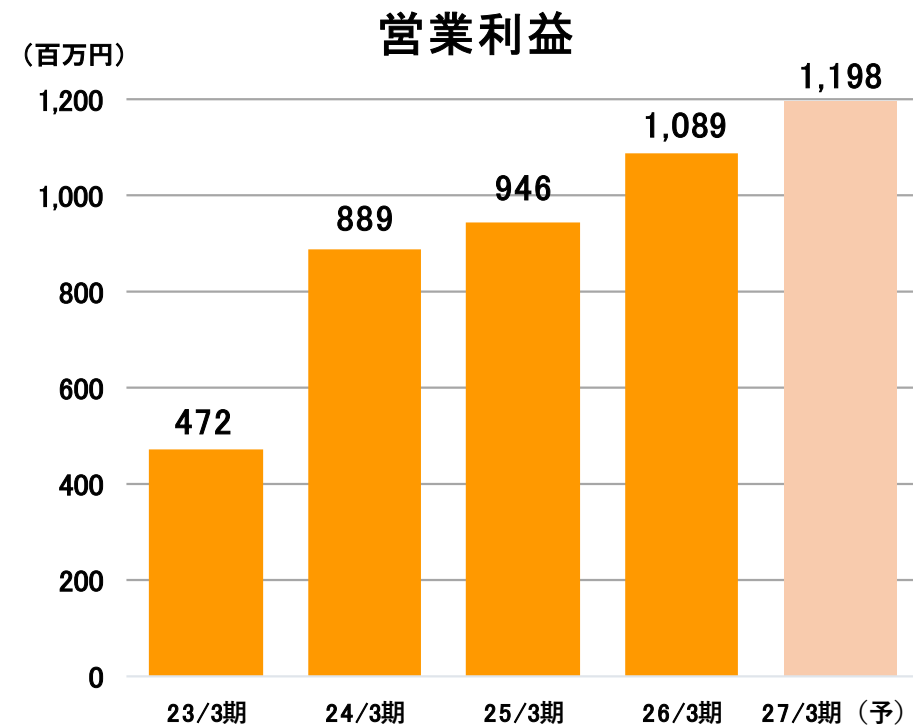
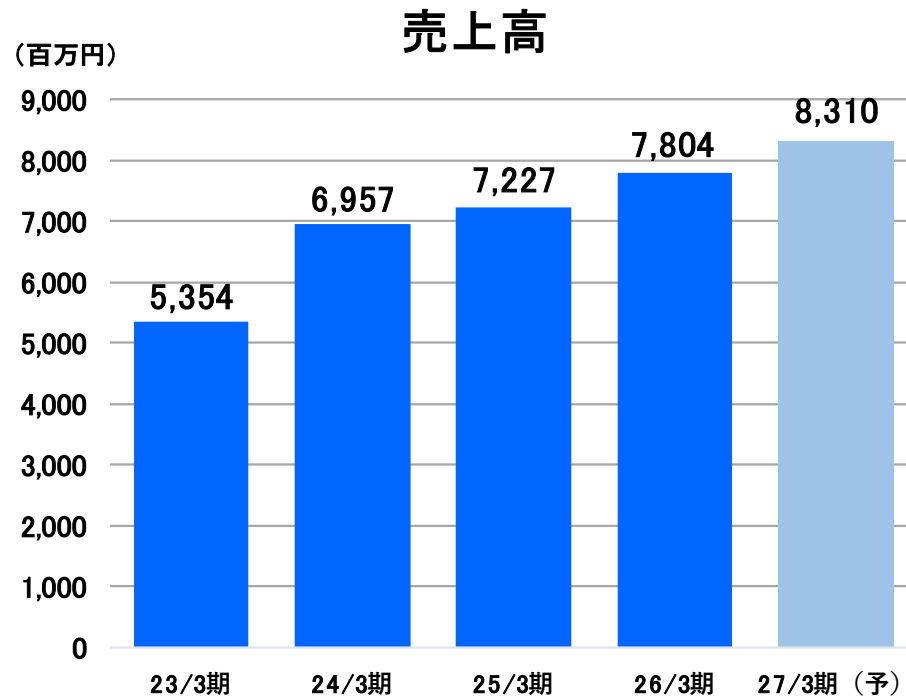
newQ (パパパパインタルト)



因幡の白うさぎ

《販売子会社》

27/3期予想:売上高 **8,310**百万円(前期比**+6.5%**)営業利益 **1,198**百万円(前期比**+9.9%**)



(百万円,%)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	対前期		27/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,354	6,957	7,227	7,804	576	8.0	8,310	505	6.5
売上総利益	2,012	2,637	2,796	3,042	246	8.8	3,290	247	8.1
粗利率	37.6	37.9	38.7	39.0	0.3	—	39.6	0.6	—
販売管理費	1,540	1,747	1,850	1,953	102	5.6	2,092	138	7.1
営業利益	472	889	946	1,089	143	15.1	1,198	108	9.9

《販売子会社》

主力商品対策及び地域特性にマッチした新商品の発売に注力



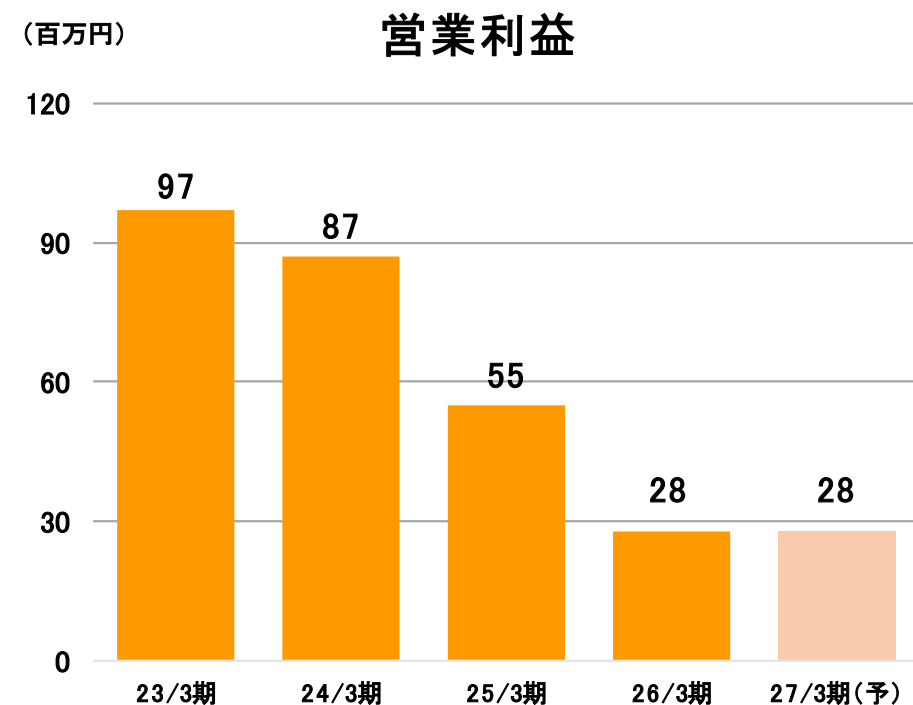
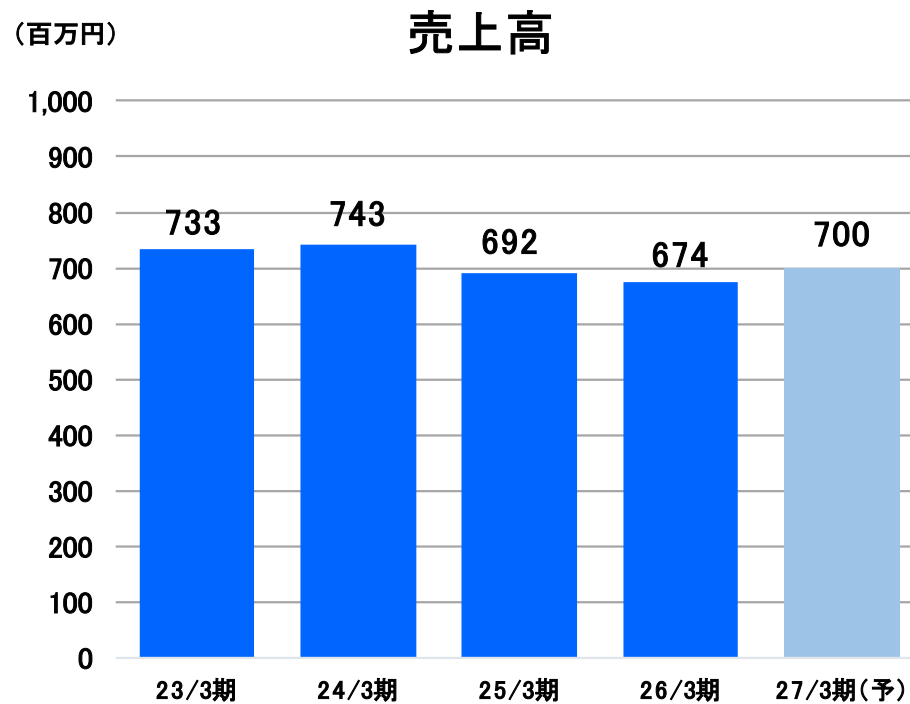
10周年を迎えた博多まっかな苺のラングドシャ



大阪はちみつクワトロフォルマッジ

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

27/3期予想:売上高 **700**百万円(前期比**+3.8%**)営業利益 **28**百万円(同**△ 3.2%**)



(百万円,%)	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	対前期		27/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	733	743	692	674	△ 18	△ 2.6	700	25	3.8
売上総利益	534	537	494	479	△ 15	△ 3.1	497	17	3.7
粗利率	72.8	72.2	71.4	71.1	△ 0.3	—	71.0	△ 0.1	—
販売管理費	437	449	438	450	11	2.6	469	18	4.2
営業利益	97	87	55	28	△ 26	△ 47.9	28	△ 0	△ 3.2

《その他》

台湾菓子事業



東京ミルクチーズ工場 台湾限定商品



ザ・メープルマニア 台湾限定商品

純藍

健康食品事業(純藍事業)



古来伝承素材「藍」を100%配合した健康茶『純藍茶』



ESG関連情報

ESG情報(マテリアリティの特定および統合報告書の発行)

当社は、当社グループが様々な事業活動を推進していくうえで、持続可能な社会実現への貢献と中長期的な企業価値の向上が重要な経営課題であるとの認識のもと、2024年6月にはマテリアリティ(重要課題)を特定し、サステナビリティにおける取り組みを推進してまいります。

また、2025年11月に発行した統合報告書2025では、日本語版に加えて、初めて英語版を公開しました。

統合報告書2025(日本語版・英語版)

寿スピリッツグループのマテリアリティ(重要課題)

- ① 持続可能な環境型社会への貢献
- ② 安心安全な製品の提供
- ③ 多様性を尊重した人財の採用と育成
- ④ 持続可能なサプライチェーンの構築
- ⑤ 地域社会との共存共栄
- ⑥ コーポレートガバナンスの強化



寿スピリッツグループ
サステナビリティサイト





株式の状況・株主還元

株式の状況

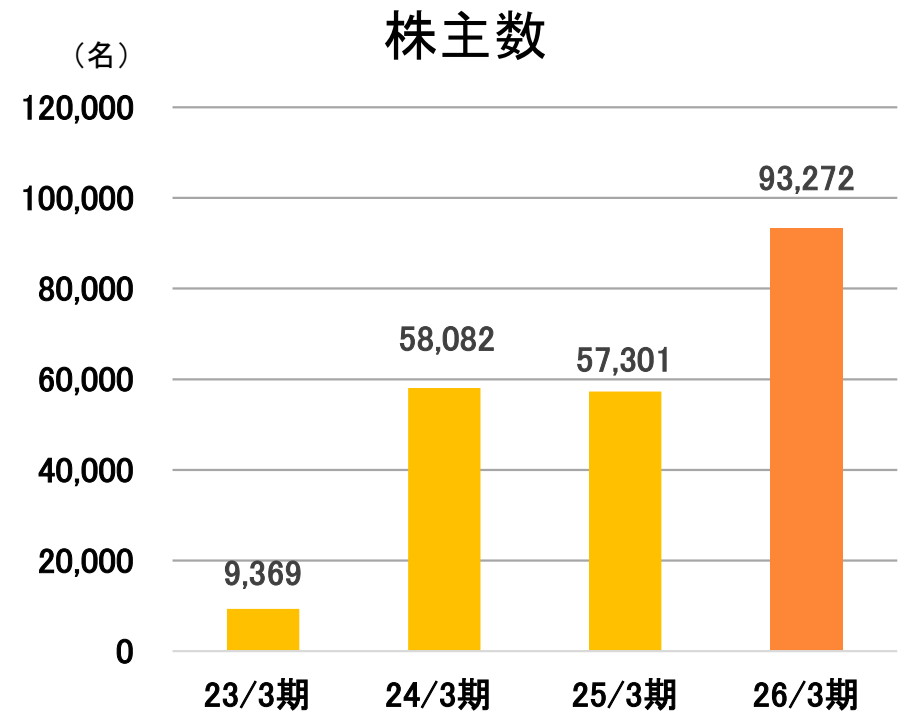
(2026年3月31日現在)

■発行可能株式総数 456,000,000株

■発行済株式総数 155,658,402株

■単元株式数 100株

■株主数 93,272名 (前期末比 35,971名増)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	45,500,000	29.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,623,000	6.88
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5,688,007	3.68
INDUS SELECT MASTER FUND, LTD.	4,933,200	3.19
株式会社山陰合同銀行	3,657,300	2.37

(注)出資比率は、自己株式1,225,366株を除く

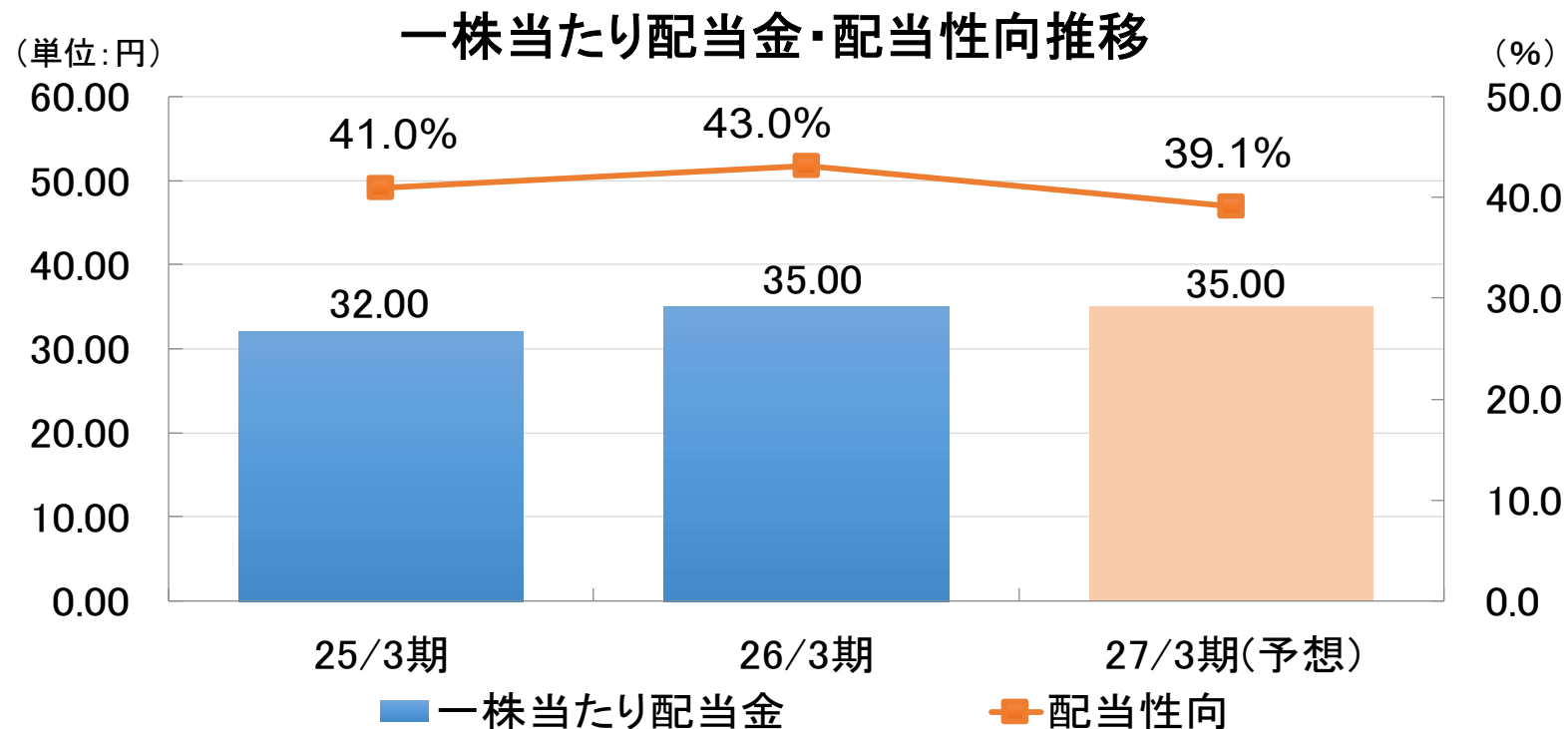
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元に努めることを基本方針としております。

なお、2026年3月期から2030年3月期の株主還元につきましては、総還元性向50%以上を意識し、利益成長に応じた増配と機動的な自己株式取得を実施する方針としております。

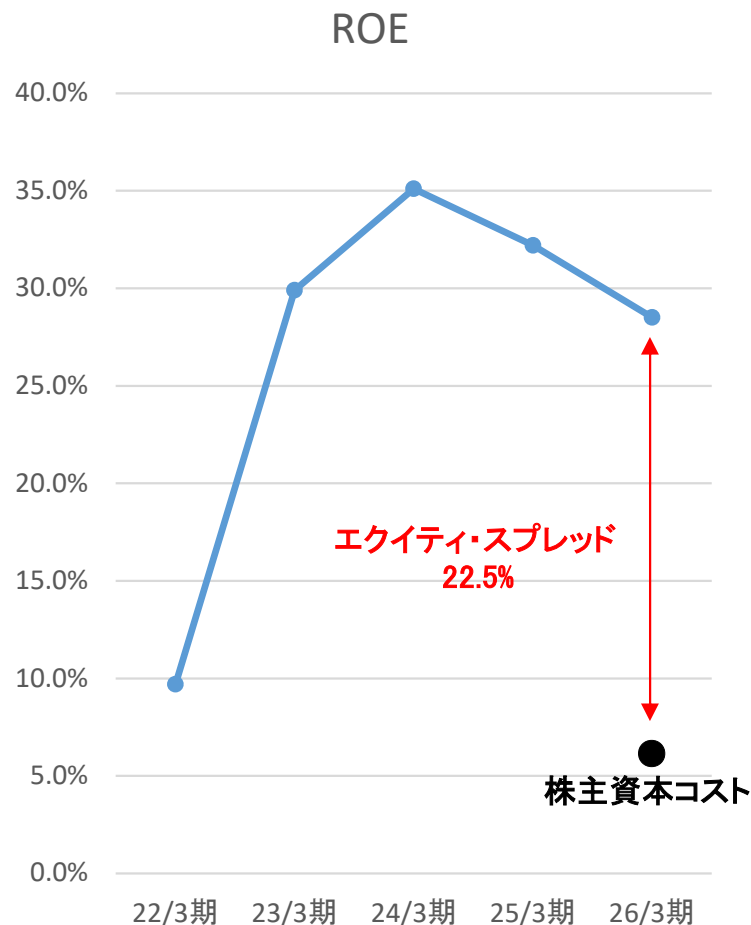
■ 2027年3月期 1株当たり配当金予想 35.00円



資本コストや株価を意識した経営への対応

■資本収益性の分析

株主資本コストをCAPM(資本資産価格モデル)で算出し、概ね6%程度と認識しております。ROEは、24/3月期は35.1%、25/3月期は32.2%、26/3月期は28.5%となり、株主資本コストを大きく超えて推移いたしております。今後もROE30%以上を目標にさらなる収益性の向上に努め、高ROE経営を推進し、企業価値の向上に努めてまいります。



	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
ROE	9.7%	29.9%	35.1%	32.2%	28.5%
ROE分解					
売上高純利益率	6.0%	14.0%	16.9%	16.8%	15.9%
総資産回転率(回)	1.23	1.56	1.53	1.47	1.41
財務レバレッジ(倍)	1.32	1.37	1.35	1.31	1.27

	【収益性】	【資産効率性】	【財務レバレッジ】
ROE	$= \frac{\text{純利益}}{\text{売上高}}$	$\times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$	$\times \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$
	売上高純利益率	総資産回転率	財務レバレッジ

株主資本コスト(%) 26/3期

リスクフリーレート	ベータ(β)感応度	リスクプレミアム	株主資本コスト
安全資産・無利息金利 ※10年国債利回りを ベースに設定	×	当社固有のリスク	×
		株式投資に期待する超 過収益率※過去の株式 市場リターンから設定	=
			<div>5.99%</div> <div>CAPMより算出</div>

資本コストや株価を意識した経営への対応

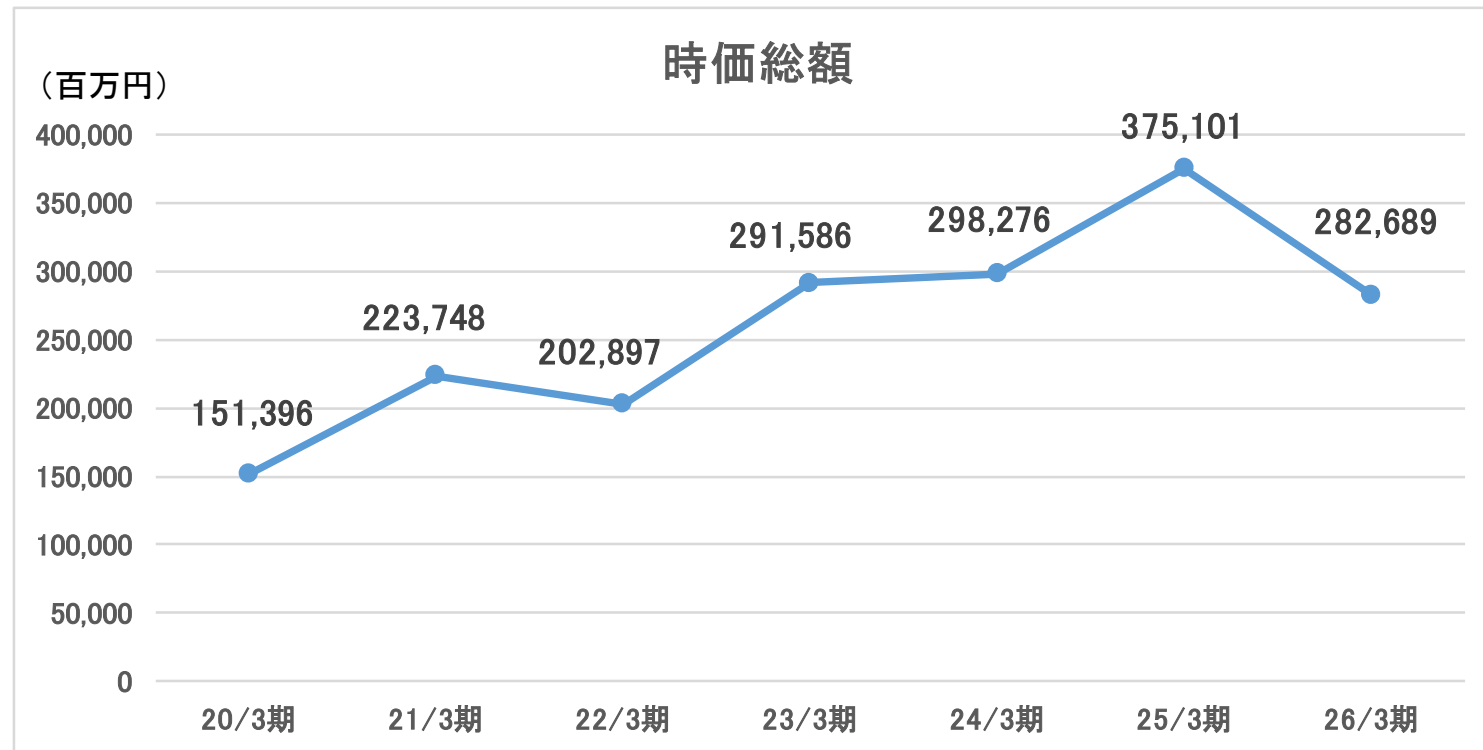
■市場評価(PER、PBR)

26/3期末のPBR(株価純資産倍率)は5.90倍と1倍を大きく超えております。

	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
PER	36.92	—	105.91	41.55	27.54	31.15	22.51
PBR	7.15	11.57	9.97	11.00	8.47	9.36	5.90

(注) 21/3期のPERは、当期純損失のため非表示

■市場評価(時価総額)



(注) 時価総額＝期末株価×(発行済株式数－自己株式数)



《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証プライム)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億6,324万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,801名
グループ会社	連結子会社18社(国内17社・海外1社)
連結売上高	787億円(2026年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月（昭和27年）鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月（昭和34年）観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月（昭和43年）銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月（昭和47年）石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月（昭和54年）現在地（鳥取県米子市）に本社工場を新築移転。
- 1987年3月（昭和62年）兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年（昭和63年）地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子＝果子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月（平成5年）鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月（平成6年）ジャスダック上場。
- 1996年4月（平成8年）北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー（現**株式会社ケイシイシイ**）を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に **株式会社つきじちとせ**を設立。東京和菓子ブランド展開に着手。北海道小樽市に株式会社ケイセイセイが『**小樽洋菓子舗ルタオ**』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、**株式会社九十九島グループ**スタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に**株式会社シュクレイ**を設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に**純藍株式会社**を設立。
- 2016年1月 (平成28年) **株式会社フランセ**の全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) **株式会社シュクレイ**が**株式会社フランセ**を吸収合併。
- 2022年4月 (令和4年) 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行。
- 2024年7月 (令和6年) 沖縄県宮古島市に株式会社ケーエムエフを設立。



小樽洋菓子舗ルタオ



“九十九島せんぺい”

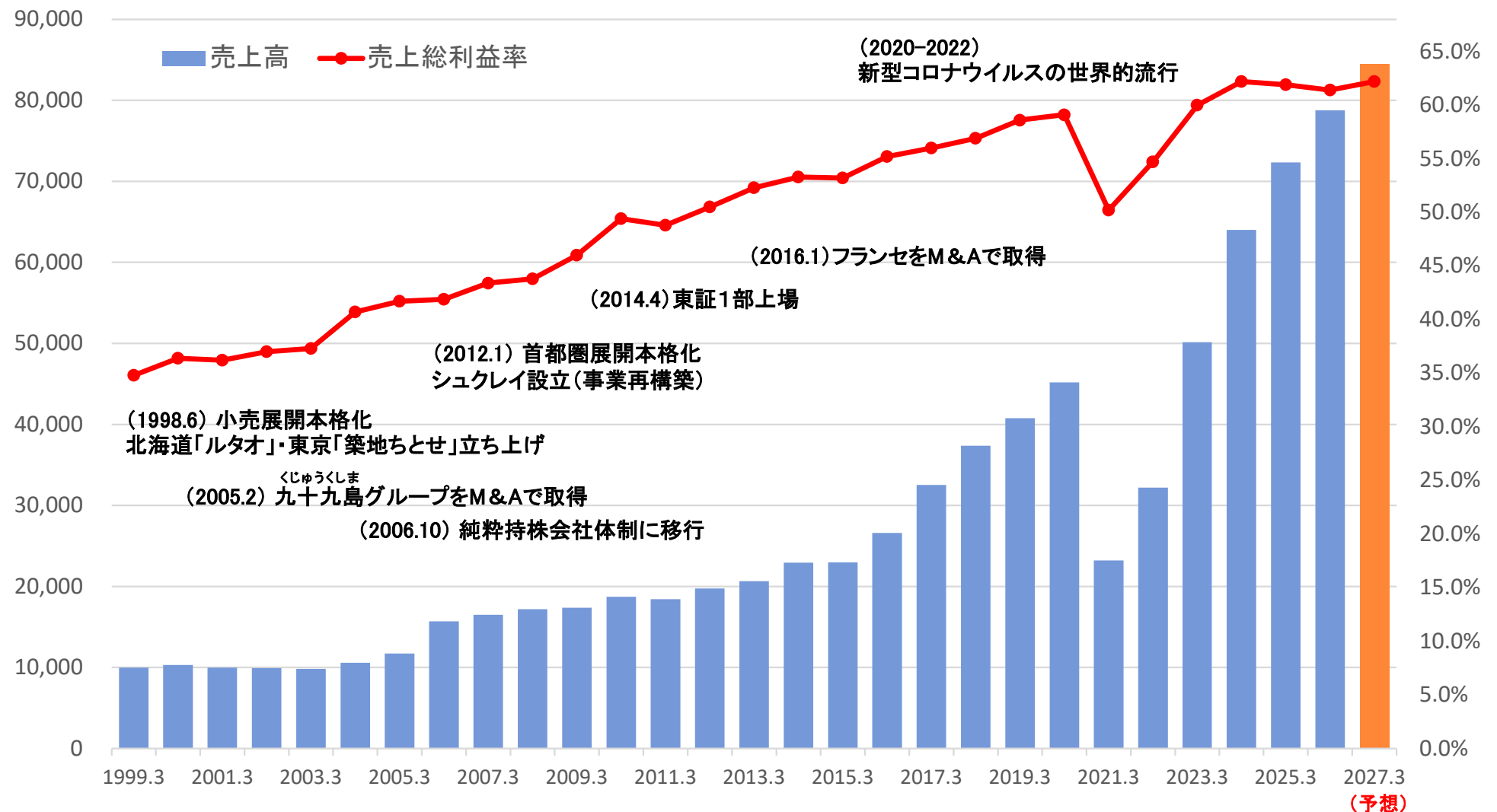


洋菓子のフランセ

寿スピリッツグループの変遷①

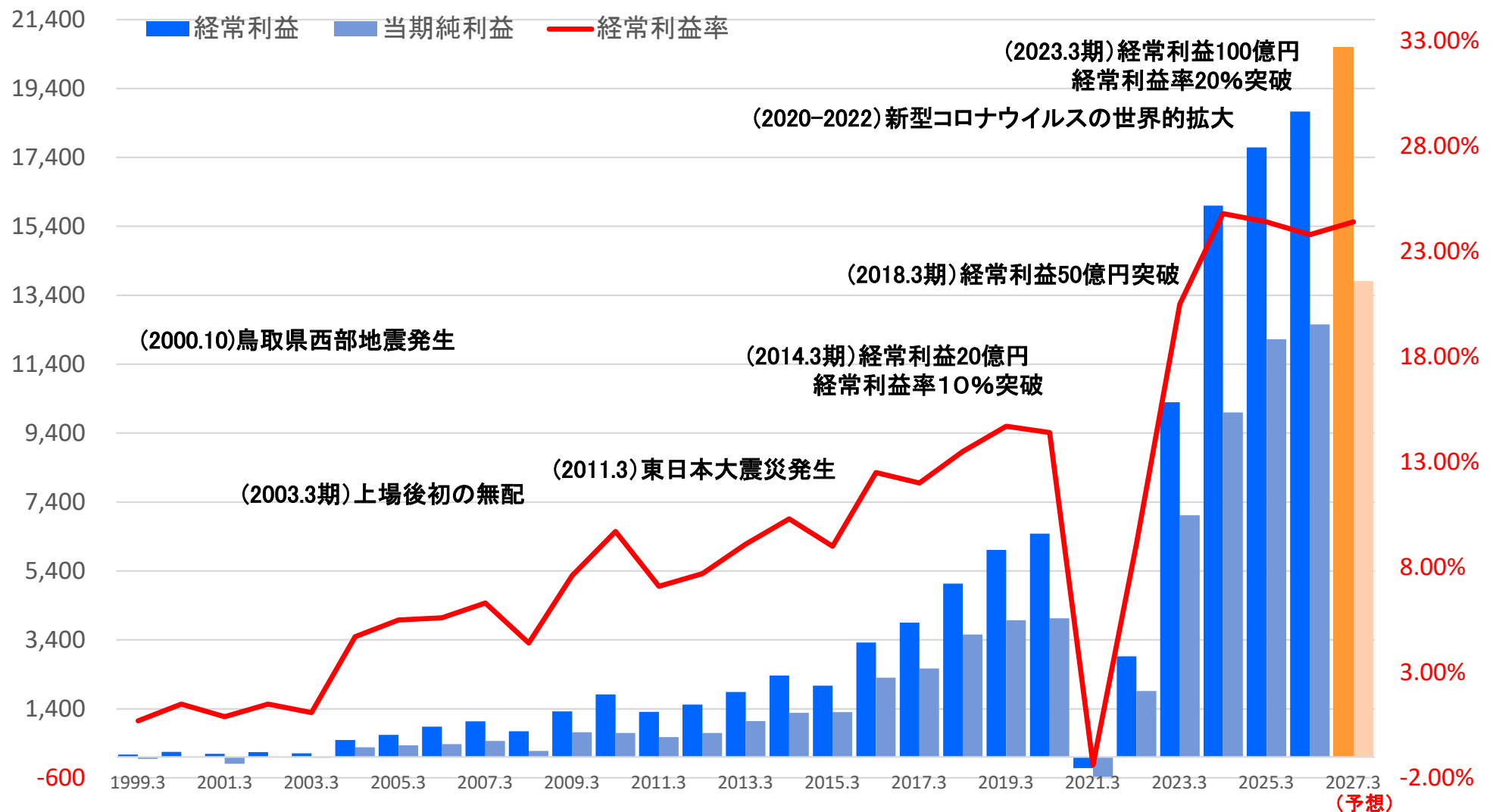
製造卸から製造小売型経営への変革により、高粗利率経営を実現

単位:百万円



寿スピリッツグループの変遷②

2026年3月期 経常利益率は23.8%となり、高い収益性を実現



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

焔
KÄnoZA
IZUMO

Nostalgic Modern.

LeTAO

Northern Sweets Manner

(北海道)



(佐世保・福岡)



(神戸)



MEETING FROM ITALY TO KYOTO

(京都)



(東京)



(東京)



(東京)



(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern.

LeTAO

Northern Sweets Manner

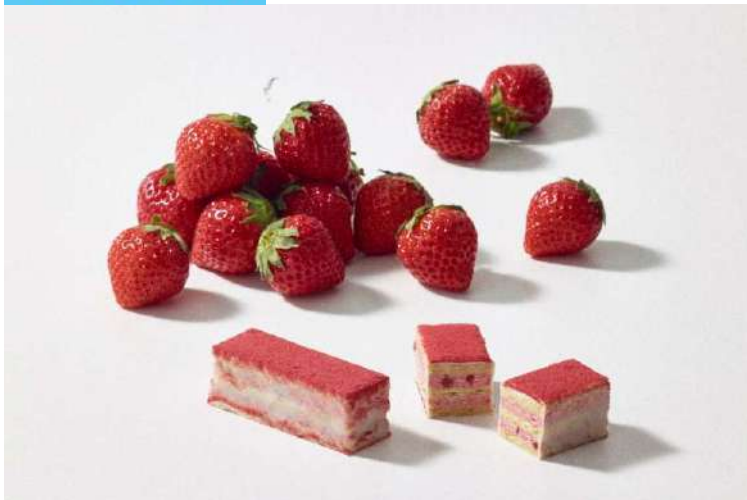
「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



くじゅうくしま
「九十九島せんぺい」

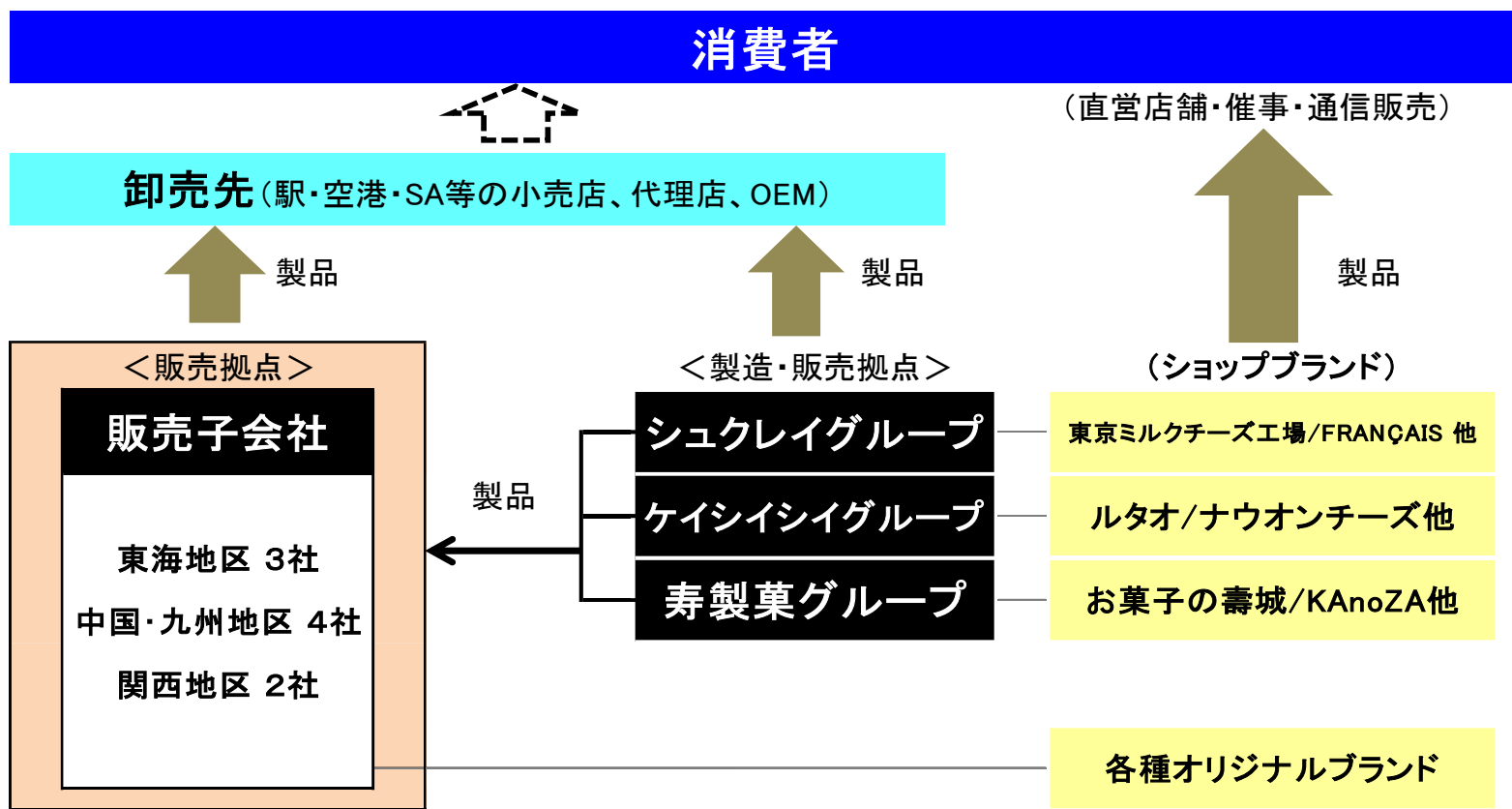
事業概要

当社グループは、当社（純粋持株会社）・子会社18社で構成。

事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。（地域事業会社の連合体）

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)は除いている。

グループ生産体制



本社工場



浦津工場



淀江工場(お菓子の壽城)



但馬工場



寿製菓

本社工場

浦津工場

淀江工場

但馬工場

※全工場でISO22000取得



第1工場



第2工場



ケイセイシー

第1工場 FSSC22000認証取得

第2工場 FSSC22000認証取得

(AIBフードセーフティー監査システム導入)



福浦工場



浜松工場



黒髪工場



卸団地工場



シュクレイ

横浜工場 FSSC22000認証取得

浜松工場 FSSC22000認証取得

富士山静岡工場 FSSC22000認証取得



富士山静岡工場



シュクレイ

(旧九十九島グループ工場)

黒髪工場 FSSC22000認証取得

卸団地工場 FSSC22000認証取得



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語です。



《寿スピリッツ》

●グループ各社の入社式

2026年4月、当社グループに124名の新たな即戦力社員が加わりました。



《寿スピリッツ》



●2025年12月、NHKエデュケーショナル主催のイベント「若い女性と体の健康応援フェスタ～知っている？からだのモヤモヤ」に協賛しました。





《寿製菓》

●2026年2月8日 B1リーグ島根スサノオマジック 寿製菓冠スポンサーゲーム開催

寿製菓では、2016年より地元山陰を盛り上げるべく島根県松江市をホームタウンとする島根スサノオマジックをスポンサーとして応援しています。



《寿製菓》



●寿製菓 大感謝祭開催

2025年10月11日、13回目となる「寿製菓大感謝祭」を開催致しました。お客様とのふれあいを通じて熱狂的ファン創りに繋がるように、スタッフ参加型のイベントを多くご用意致しました。



《寿製菓》



●2026年3月、因幡の白うさがリレー方式によりスイーツにデコレーションした最多人数の世界記録に挑戦しました結果、349名の記録でギネス世界記録を達成しました。



《ケイシイシイ》



株式会社ケイシイシイ(本社:北海道千歳市代表取締役社長:上村 成門)は、箱根町が公募した旧「箱根芦之湯フラワーセンター」の運営事業者に選定されました。当社が北海道小樽市において小樽洋菓子舗ルタオの展開などを手掛けてきたノウハウを活かし、本物件を本店とする新たな菓子ブランドを創造。2026 年 7 月の開業を目標に、箱根の自然と調和した世界観を持つ施設として再生し、観光リピーター創出に貢献してまいります。



※改装工事前



※画像はイメージです。

《シュクレイ》

SUCREY
AOYAMA

●2016年4月15日、NEWoMan新宿の開業とともに始まった「Butter Butler」が多くのお客様に支えられ、ついにブランド誕生10周年の節目を迎えました。2026年は” Butter Butler year”！お客様への感謝を込めたキャンペーンや、新しい仕掛けを年間通して次々と展開してまいります。

